

超描ける
シリーズ

アジア
ファンタジーな
女の子の
キャラクターデザインブック

紅木春 著

女の子を
かわいく&
個性的に描く！
民族衣装を活かした
アイデア
満載！

玄光社



アジアファンタジーな 女の子の

キャラクターデザインブック

紅木 春 著



玄光社





はじめに

初めまして、イラストレーターの紅木春です。

本書をお手に取っていただきありがとうございます。

普段の制作ではレトロなモチーフや、和洋折衷といった
異国感溢れるファンタジーな世界観を好んで
よく描いております。

そしてこの度、民族衣装をテーマとした

本書の企画のお話をいただき執筆することとなりました。

民族衣装はアジアンファンタジーな世界観を表現するうえで、
大変魅力的な要素の一つだと感じております。

というのも、衣服に使われている生地の種類、
伝統的な柄や文様、身に付けているアクセサリなど、
衣装デザインはその世界の歴史や文化、

時代背景や伝統技法、その土地の気候や生活様式にまで
深く関わってくるからです。

そんな民族衣装のデザインを取り入れつつ、

本書では3つのテーマに分けて

キャラクターデザイン案を紹介させていただきます。

制作の際にデザインの参考にしたり、

眺めてイラスト集として楽しんだり、

デザインの設定を読んでそのキャラクターの

世界観を想像したりなど、

自由に活用していただければと思います。

民族衣装から生まれるアジアンファンタジーな世界観を、
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

紅木 春















はじめに	2
ギャラリー	4
アジアファンタジーとは？	12

1章

アジアの民族衣装

着物	14	デール	29
琉装	15	タイドレス	30
アットゥシ	16	ケミス	31
白無垢	17	クイネク	32
大原女	18	クルテ	33
壺装束	19	ロンジー	34
漢服	20	カラカ	35
チーパオ	21	カフタン	36
チュパ	22	バランジャ	37
チマチョゴリ	23	キラ	38
アオザイ	24	サロンケバヤ	39
サリー	25	バジュクロン	40
ガガラ	26	テルノ	41
ランガードレス	27	コラム	
サルワールカミーズ	28	1 アジアの民族衣装の形式	42



2章

現代衣装×民族衣装



解説 現代衣装と民族衣装を
組み合わせる

セーラー服	46
ブレザー	48
スーツ	50
ジャージ	52
サロベット	54
ワンピース	56

ニット	58
ライダース	60
ダッフルコート	62
パーカー	64
ウェディングドレス	66
水着	68
コラム	
2 現代小物を民族アレンジ	70

3章

ファンタジー×民族衣装

解説	ファンタジーと民族衣装を組み合わせる	72
魔女		74
天使		76
悪魔		78
キョーシー		80
騎士		82
お姫様		84

メイド	86
踊り子	88
メッセンジャー	90
鍵屋	92
天文学者	94
コラム	キャラクターの設定や
3	物語を考える
	96



4章

モチーフ×民族衣装



解説	モチーフと民族衣装を組み合わせる	98
梅		100
盆栽		102
鬼灯		104
紫陽花		106
達磨		108
獅子舞		110
ぼんぼり		112
花札		114

おしるこ	116
紅茶	118
カラス	120
クラゲ	122
金魚	124
珊瑚	126
骨	128
コラム 4	配色による印象の 違いを知らう 130

5章

イラストメイキング

表紙イラストメイキング	132
01 ラフを描く	133
02 ラフに着色する	133
03 線画を描く	134
04 線画に配色する	135
05 肌と目の着色	136
06 髪と目の着色	137

07 服・装飾品の着色	138
08 その他の着色	139
09 加筆・修正	140
10 色調整・仕上げ	141
コラム	アジアファンタジーな デザインバリエーション
5	142



※本書に掲載した民族衣装の情報は、あくまで編集部調べによるものです。可能な限り普遍性のある紹介をしていますが、実際の民族衣装は時代や地域によって細かく異なります。



アジアファンタジーとは？

アジアファンタジーの世界

アジアの文化や歴史を元に
オリジナルの世界を作る

アジアファンタジーとは、アジア各国の文化や歴史から着想を得て作り出す世界観のこと。近代的なものよりも伝統的なものを重視した、どこかノスタルジックな空気が特徴。服装や装飾品はもちろん、日用品やインテリア、場所や環境まで、様々な要素から発想を広げていきます。



タイの水上マーケットをテーマにしたイラスト。現実よりも華やかにアレンジ。キャラクターは、着物や洋服、巻きスカートといった民族衣装からデザインをして、雰囲気を出しています。



アジアファンタジーの衣装

アジアの民族衣装には
文化や歴史が詰まっている

民族衣装は、それ自体が文化であり歴史です。地域の風習や宗教感、土地の気候や環境、もしくは用途に合わせて、多種多様に生み出されてきました。そこには国や地域の文化がぎゅっと凝縮されています。そのため民族衣装を元にするだけで、比較的簡単にアジアファンタジーなキャラクターをデザインすることができます。民族衣装は種類が豊富で、同じ名前でもデザインが異なるものも数多く存在します。ぜひお気に入りの衣装を探してみてください。



この本で紹介しているのは
あくまで一例だよ。気になる衣装が
あったら、ぜひ調べてみてね！

民族衣装

アジアファンタジー



1章

アジアの 民族衣装



世界に誇れる日本の美しい伝統衣装

着物

主な国

🇯🇵 日本

衣装解説

日本の伝統衣装である着物は、大きく広がった袖や、生地が重なる襟元、腰の上に巻く太い帯が特徴的です。基本的に長方形の布を縫い合わせた構造のため、平面的なシルエットになります。女性らしさを出すため、襟は後頭部側に空間を作って着付け、髪はアップヘアにすることで首回りを見えるようにすることが多いです。



この帯の結び方はお太鼓結びと呼ばれる伝統的な結び方です。他にも銀座結びや花結びなど様々な種類があります

淡いピンクに桜模様で、日本を感じてもらえるようなデザインに

着物のシワは帯を中心にできるよ！



かんざしは伝統的な髪飾りなので着物とよく合います

沖縄県の色鮮やかな伝統衣装

琉装

主な国

🇯🇵 日本

1

アジアの民族衣装

大きく鮮やかな花を
モチーフにした花笠
をかぶることも



赤や青や黄色などの華やかな色合いや、大きな模様が特徴的です

衣装解説

琉装とは、沖縄がかつて琉球王国として栄えた時代に作られた伝統衣装のことです。気温が高い沖縄で快適に過ごすため、着物よりも袖が広く着付けもゆったりとしていて、風通しがよくなるように工夫されています。帯を締めずに腰紐1本で着付けられることが多く、そのスタイルはウシンチーと呼ばれます。



帯をきっちり締めないので、後ろ姿はとてもゆったりとしたシルエットになります

北海道の先住民であるアイヌ民族の伝統衣装

アットウシ

主な国

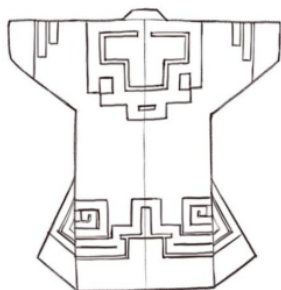
日本

衣装解説

アットウシは、木の種類であるオヒョウやシナノキなどの樹皮から取り出した繊維で作った糸を織って作られています。男女ともに着用され、足首まで長い丈の羽織を、細めの帯で締めるスタイルが主流です。アットウシは、軽くて丈夫で風通しがよく、防水性もあるなど、北国での生活に適した機能性の高い衣装です。

特徴的な渦巻き文様は、モレウ（アイヌ語で渦巻きを指す）と呼ばれます

タマサイと呼ばれる首飾りはガラス玉をつけて作られています



背中にもアイヌの文様が大きく入っています。アイヌ民族は、この文様を魔除けの効果があるものとして古くから受け継いできました



蛙の皮から作られたチェブケリという靴

日本で最も格の高い婚礼衣装

白無垢

主な国

🇯🇵 日本

1
章

アジアの民族衣装

綿帽子は、挙式が終わるまで、花嫁の顔が新郎以外の人に見られないように、という意図から顔が隠れるデザインになっています

裏が赤くなっているものは紅裏と呼ばれ、白無垢をより印象的にします

裾がとても長いので、だれかに持ってもらったり、引きずったりして歩きます

衣装解説

白無垢とは、日本の伝統的な花嫁衣装です。純真無垢を表現した白一色の布であることが基本です。しかし、古くから紅白は縁起がよいとされることから、紅色が袖や裏地に入ることも多くあります。打掛と呼ばれる羽織や、掛下と呼ばれる打掛の下に着用する振袖などがあるため、一般的な着物よりもボリュームがあります。



帯通
簪



懐刺



末広

化粧道具を入れる簪通、昔から身に付ける風習が残る懐刺、祝儀に用いる扇子の末広を小物として身に付けます

大原から京の町まで歩いた行商の女性たち

大原女

主な国

日本

衣装解説

大原女とは、京都大原で採れた柴や薪、農作物などを京の町まで売りに歩いた行商の女性のことです。その装いは、紺色の着物に赤いたすきで腕を縛り、足を保護し歩きやすくする脛巾すねばしを着用。脛巾は長時間歩くことや動きやすいことを考慮されており、鎌倉時代から昭和初期頃までの長い間着られていました。



大原女は、袖が邪魔にならないようたすき掛けをしています。たすき掛けをほどくと、袖の長さは七分程度になっています



運ぶものはとても重く、バランスを取るため頭にのせて運びました

外傷や寒さから身を守るために手甲てがまを着けています

着物が汚れないように、前だれまなれを着用しています

平安時代から鎌倉時代にかけて親しまれた女性の旅衣装

壺装束

主な国

🇯🇵 日本

1

アジアの民族衣装

いしき 市女笠をかぶり、虫除けのための「虫の垂れ衣」を垂れ下げて旅をします

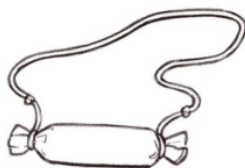


腰の部分が広く、裾がすぼんでいる形から壺のようだと例えられました

衣装解説

壺装束は、平安時代から鎌倉時代にかけて、身分の高い女性が外出する際に着用された高貴な衣装です。壺装束の裾はとても長いのですが、移動がしやすいように裾を端折って短く着付けられました。胸から背にかけて垂れ結んだ赤い帯は懸帯と呼ばれ、社寺参拝の時に身に付けられるとても神聖な装身具でした。

小袖や単の上に、桂と呼ばれる広袖の上着を重ねているよ！



女性たちの旅の無事を祈って懸守が首から掛けられています。懸守の中には、御守りや薬が入っています

漢民族の美しい伝統衣装

漢服

主な国

中国

衣装解説

漢服は漢民族の伝統衣装の総称であり、様々な種類があります。その中でも人気の高い、襦裙じゆくわんと呼ばれるスタイルは、ハイウエストの帯と平坦に開いた襟が特徴的です。西欧化や国家体制の変化で次第に着用されなくなりましたが、現在でも結婚式や卒業式などでは伝統衣装として着用されています。

漢服は軽くてしなやかで着用も簡単です

ボタンを使わず、帯で締めます



帯を胸下で締めてインナーが見えるタイプなど、漢服のデザインは様々です。カラーも女性ものは淡いことが多いですが、決まりはないので、デザインに使う際は自由にイメージしましょう

ゆったりとしたスカートは裾が長く、足を出しません

中国の最も代表的な民族衣装

チーパオ

主な国

中国

1

アジアの民族衣装

衣装解説

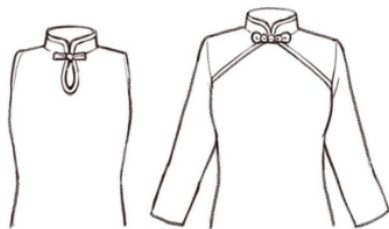
日本でもよく知られ人気のあるチャイナドレスは、現地の中国ではチーパオと呼ばれています。体にフィットするデザインや華やかな刺繍、深く入ったスリットなどが特徴的です。現在は中国でも日常的には着用されず、結婚式やパーティーなどの華やかな席で着用されることが多いです。

光沢感のあるものは生地
に絹が使われています

深いスリットは、乗
馬に便利だった名残
として残っています

刺繍は花や蝶、龍な
ど豪華なモチーフの
ものが主流です

チャイナボタンは
シンプルなものから
豪華なものまで様々！



チーパオの襟はチャイナカラーと呼ばれ、首元がつまった形と装飾用のボタンが特徴的です。右開きや両開きなど、様々な形があります

チベット人に広く愛されている民族衣装

チュバ

主な国

中国

インド

衣装解説

チュバは長いコートで、裏地は耐久性と保温性に優れた羊の皮から作られています。サイズ感は大きくゆったりとしていて、袖口も広いのが特徴です。チベットは気候の変化が大きいため、それに対応できるよう調節のしやすい格好になったともいわれています。夜、睡眠する時の掛け布団として用いられることも。

金銀、珊瑚、トルコ石などを使った大きく豪華な装飾品を身に付けます

色鮮やかで、柄は花や龍などの刺繍がほどこされています



女性は、チュバの上からバンデンといわれるエプロンを着用する人も多いです。元々は既婚の女性が着るものとされていましたが、最近では未婚の女性でもファッションとして身に付ける人もいます。

裏物は絹や麻、冬物がウールでできていて、気候に合わせてられるんだって！



韓国が誇る伝統的な民族衣装

チマチョゴリ

主な国

 韓国

1
章

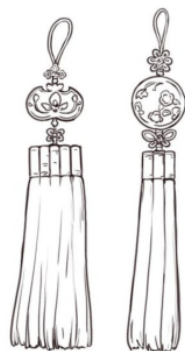
アジアの民族衣装

衣装解説

チマチョゴリとは、韓国語でスカートを指すチマと上着を指すチョゴリで構成される伝統衣装です。現地では韓服とも呼ばれています。チョゴリの細かな刺繍、チマのふんわり長いシルエットが多くの女性に好まれています。チマとチョゴリの色合わせが自由なので、自分好みの色合いで着ることができます。

胸元のかわいらしいリボン
はオッコルンと呼ばれています

チマは、赤やピンク、紫
など女性らしい色を選
ぶ人が多いです



チマチョゴリに欠かせない、韓国
伝統の紐紐アクセサリがノリゲ
です。無病息災や不老長寿祈願な
どの意味も込められています

ベトナムの歴史ある鮮やかな正装着

アオザイ

主な国

ベトナム

衣装解説

アオザイは、びったりとしたシルエットと優雅な布の動きが特徴的な民族衣装です。素材は、シルクやポリエステル、サテン、レーヨンなど多種多様です。刺繍はベトナムの伝統芸であることから、花、蝶、鳥などの刺繍入りのアオザイが人気となっています。可憐で品格があり、昔からベトナムの正装着として、多くの人に愛用されています。



生地が薄いことが多いので、下の服装が透けて見えることも！



伝統的な葉笠であるノンラーをかぶります。ベトナム全土で用いられる円錐形の、ラタニアの木の葉でできた帽子のことです



つめ襟が定番であり、刺繍やビーズが入ったものなど様々です

両脇のスリットは、ウエストから数センチほど上まで入っています

クワンと呼ばれる直線的で体型を強調するパンツを着用します

インド全土で見られるインド女性の伝統衣装

サリー

主な国

 インド

1

アジアの民族衣装



ティカやビンディと呼ばれる、おでこを飾るアクセサリー

スパンコールや金糸があしらわれ、華やかな印象に

衣装解説

サリーは、1枚の布を巻き付けて、身体を包み込むように着こなすインドの民族衣装です。インドでは縫い目のない布が神聖なものと考えられ、長さ5メートル以上の布でプリーツ（ひだ）を何層も作り、着付けをします。着付け次第で、全く異なったスタイルにできるのも楽しみ方の一つです。

サリーは素材も刺繍も色も千差万別だよ！



インナーとして、丈の短いシャツであるチョリとベチコートを着用します。どちらもサリーと同系色にし、統一する人が多いようです

インドの刺繍が鮮やかな民族衣装

ガガラ

主な国

 インド

衣装解説

ガガラは鮮やかな色合いと美しい刺繍がほどこされたインドの伝統的な巻きスカートで、カンジャリと呼ばれるブラウスに合わせて着用します。タイトなカンジャリとふんわりしたガガラはバランスがよく、女性らしいシルエットになります。インドの刺繍は世界的にも有名で人気があり、その刺繍技術の高さが反映された民族衣装です。

首や腕に大きなアクセサリーを付け、より衣装を華やかに飾ります



背中が大きく開いているデザインが印象的です。実際にはパールをかぶり背中を隠すことが多いです



装飾と魔除けを兼ねた鏡片を縫い止めるミラーワークがよく用いられます

インドで愛される美しいフォーマルドレス

ランガードレス

主な国

 インド

1

アジアの民族衣装

ラメやビーズが散りばめられ、その美しさと繊細さが印象的です



衣装解説

ランガードレスとは、ブラウス、スカート、ベールの3点からなるインドの民族衣装です。現地ではチョリ、レンガ、ラハంగాなど別の呼ばれ方もしています。ベールは肩に掛けるだけでなく、頭に掛けることもあります。華やかで目を引くランガードレスは、結婚式やパーティー、舞台衣装などにも着用されることが多いです。



ブラウスはお腹が隠れるものから、丈の短いものまであります。透け感のあるベールや動きのあるスカートとの相性がいいです

ふんわりとしたスカートは丈の長いものが主流となっています

南アジアで広く愛され続ける民族衣装

サルワールカミーズ

主な国

インド
ネパール

衣装解説

サルワールカミーズは、シャツを意味する「カミーズ」と、ズボン意味する「サルワール」のセットで着用される南アジアの民族衣装です。女性はさらにドゥパッターと呼ばれるストールを合わせるが多いです。男性用と女性用とがあり、呼び名もそれぞれ異なります。生地は様々で、綿やシルクの場合は涼しく、温暖な気候に適しています。

ドゥパッターは、前から後ろに向けて肩に掛けるのが一般的です

カミーズは、タイトなもののからワイドなものまで形は様々です

鮮やかなカラーがおしゃれで、パンツスタイルなので動きやすいのも人気の一つです



ドゥパッターを首に巻き、胸を露出して、短い丈のサルワールを履いた夏仕様に、季節を問わず楽しめる民族衣装です



モンゴル文化を代表する民族衣装

デール

主な国

モンゴル

1
章

アジアの民族衣装

落馬した際に身体を
傷つけないように、
デールにはボタン以
外に金属がない

デールの立襟は身体の
水分が蒸発するのを抑え
たり、虫が入るのを防い
だりする役割がある

衣装解説

デールは立襟で、首と右胸・右腰を
ボタンで留め、腰に帯を巻く形の長衣のこ
とです。部族、年齢、性別、未婚婚など
によって着る服が異なるため、デールは数百
種類もあるといわれています。ウムドゥ
というズボンを着き、腰にブスという帯やベ
ルトを締め、ゴタルと呼ばれる先のそりか
えったブーツを履くのが一般的な装いです。

遊牧民族の
暮らしに合わせた
機能性の高い
衣装だね



生地は、絹やナイロ
ンを使用し、ツルツ
ルとしています

ゴタルはつま先の尖りが
特徴的で、ショートやロ
ングなど形は様々です



デールと合わせて、マルガエと呼ばれる
帽子が多く着用されます。モンゴルでは
天に対する信仰があるため、天と人を結
ぶ頭を神聖な部位とらえており、マル
ガエも大切に扱われます

女性を華やかに豪華に飾るタイの民族衣装

タイドレス

主な国

タイ

衣装解説

タイドレスは、タイの正装であり、婚礼衣装としても着用されています。生地は、タイの工芸品であり、世界でも評価の高いタイシルクが使われることが多いです。金糸や銀糸、シルクの光沢感、鮮やかなカラーから豪華さを感じる衣装です。大胆に大きく肩を出すのもタイドレスの特徴の一つです。



ポーズは、合唱を
してお辞儀をする
ワイと呼ばれる
タイの伝統的な
挨拶を参考にしたよ

サバイと呼ばれる肩
布を、左肩から後ろ
に垂らします

金や宝石が散りばめら
れたベルトでウエスト
を引き締めます

布（バー）を履く（ヌ
ン）という意味で、ス
カートはバー・ヌンと
呼ばれています




ドレスに合わせるの、金細工のアクセサリー
が一般的です。煌びやかなアクセサリーが、ド
レスの豪華さをより引き立てます



ケミス

主な国

 アフガニスタン

1

アジアの民族衣装

ハイウエストなデザインは、女性のスタイルのよさを引き出します



大きく広がった袖にも鮮やかで細かい刺繍がほどこされます

衣装解説

ドレスを意味するケミスは、パンツを意味するバルトゥグを合わせるのが基本のスタイルです。鮮やかな色彩と細かい手刺繍やビーズ刺繍が特徴です。縫い付けられた刺繍の飾りは、衣装が古くなると新しいものに付け替えられ長く大切に使われてきました。美しい色彩の染織品は、身を守護し、家族の繁栄を祈り、民族の誇りを表わしています。



胸元の細かく丁寧な刺繍は、ショートカットの女の子が着ると、より目立つ印象に

トルクメニスタンで日常的に好まれている民族衣装

クイネク

主な国

トルクメニスタン

衣装解説

クイネクは、トルクメニスタンの伝統的な丈の長い女性用のワンピースです。細身のパンツを合わせたり、ロングワンピースとして1枚で着用したりします。トルクメニスタンの伝統的な衣装では、赤、黒、黄色、白の4色が基本となります。黒や赤が一般的ですが、子を持つ母親は黄色、長老は白を着るなどの習慣があります。



トルクメニスタンでは
多くの人が
普段から着ている
衣装なんだ



天然石が入っているものや銀細工のアクセサリを合わせて身に付けます。ゆれるものや大きなものなど、豪華なアクセサリが多いです




少し開いた胸元はカヤと呼ばれ、羊の角や花の模様の刺繍が入っています

ワンピースの丈は長く、あまり広がりがいないものが一般的です

トルクメニスタンの女性の正装

クルテ

主な国

 トルクメニスタン

1

アジアの民族衣装

衣装解説

生地はシルクで仕立てられているため、強度があり丈夫な作りです

クルテは、トルクメニスタンで、祭日や結婚式などで着用される正装として知られています。主に足首まで丈の長いコートがクルテとして知られ、ドンと呼ばれることもあります。トルクメニスタンの部族によって好まれるクルテの色は異なりますが、赤色を着ている女性が多いです。主に絹で作られており、保湿性や通気性に優れています。

クイネクの上に羽織って着ることも多いよ！



着丈の長いワンピースと短靴で合わせるのが一般的な装いです



目を引く細かな刺繍には、部族や集団を表し、魔除けの意味が込められた羊の角や花の模様などがほどこされています

ミャンマーの日常着である伝統的な民族衣装

ロンジー

主な国

 ミャンマー

衣装解説

ロンジーとは、ミャンマーで着られる巻きスカートの総称のことで、上着にはエンジーと呼ばれるブラウスを合わせます。生地には一般的に木綿が使われますが、式典や特別な行事用に、高価な絹織でできたロンジーもあります。ミャンマーでは、ロンジーは日常的に着用されており、学校の制服にも採用されています。



ロンジーの柄は
無地に限らず、
ポーターや総柄
など様々だよ！



エンジーと共に着られるだけでなく、持っているブラウスやTシャツなどのトップスと組み合わせて着ることもあります



ロンジーは、左右どちらかに布を寄せて結び付けています

足首までくる丈の長いものが主流として着用されています

女性の晴れ着として着られる、世界一大きな民族衣装

カラカ

主な国

 ヨルダン

1
章

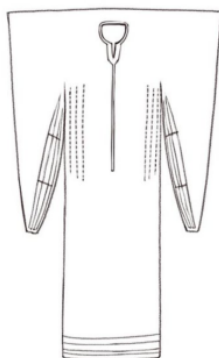
アジアの民族衣装

衣装解説

カラカの特徴は、衣装を巻き付けて着用する独特な着方です。長い右袖を頭にかぶってヴェールとし、左袖は後ろに回して右腕に掛け、お金や小物を入れる物入れとして使用していました。主に、生地は木綿で作られているため、水や寒さに強く、防寒着の役割も果たしています。1950年代頃までよく見掛けられていましたが、現在ではほとんど着用されていません。

全体の布は落ち着いた色合いが多く、袖や裾に鮮やかな色合いの刺繍が入ります

カラカは布が長いので、腰の内側にたくし上げて帯で締め、長い折り返しとして着用します



袖と丈が長く、広げると3メートルを超えるものもあるとても大きな衣装で、世界最大の民族衣装ともいわれています。

トルコ人男性も愛用している民族衣装

カフタン

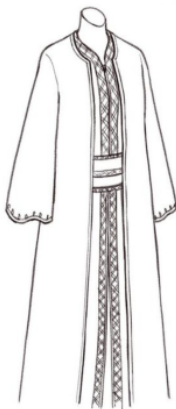
主な国

トルコ

衣装解説

カフタンとは、長袖で丈の長い前開きのガウンです。カフタンの裏地に毛皮を縫い付けた温かなものや、カフタンの上から半袖のチョッキを重ね着するような形もあったそうです。カフタンは、風通しがよく日光を遮る役目をするので、暑くて砂地の多いトルコの環境に適した衣装とされています。

今はあまり着られないけど、オスマン帝国の時代には豪華な衣装として権力者たちが着ていたんだって！



カフタンを前開きにし、ウエストをベルトで引き締める着方です。脚が長く見える効果があり、スラッとしたスタイルになります



美しい刺繍には金糸が使われ、カフタンを一層華やかな印象にします

ウズベキスタンの女性を守ってきた民族衣装

パランジャ

主な国

 ウズベキスタン

1

アジアの民族衣装

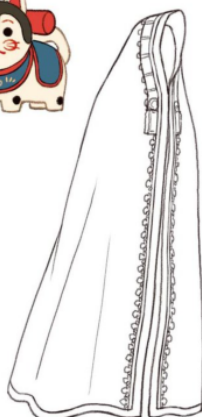
全体的に模様が刺繍でほどこされており、目を引く豪華な衣装です



衣装解説

パランジャは、1920年代頃までウズベキスタンの女性用のローブとして用いられていました。女性の身体をすっぽりと覆うパランジャは、日差しをさえぎり、埃除けや防寒の役目も果たしていました。色や形は、時代や民族によって様々で、多種多様なパランジャがあったようです。

豪華なものだと、裏地にも美しい柄が入ることもあるよ！



ウズベキスタンでは、女性は外出の際に顔や髪の手、身体を隠す風習があったため、外出時は頭から深くパランジャをかぶりました

ブータンの女性に日常的に愛される民族衣装

キラ

主な国

ブータン

衣装解説

キラは、大きな一枚布を体を巻き付けて、ワンピースのように着用する衣装です。テゴという上着を羽織って、下にはウォンジュというブラウスを着ます。ブータンでは、伝統文化保護のために公の場では常に民族衣装を着ることが義務付けられています。キラはブータンでよく目にする、女性の日常着です。



テゴを脱いだ図です。両肩はコマというブローチで布を留めています。ウエストは、ケラと呼ばれる帯でしっかりと締めます

布を巻き付けたら、テゴを上着として着用します

ラチュには着物の帯のような分厚い生地が使われているんだよ！



キラは足首まで丈が長く、スッキリ見えるシルエットです

女性はラチュ、男性はカムコと呼ばれる布を肩に掛けます

袖はウォンジュを折り返して着るのが基本のスタイルです。

豪華で美しく女性らしい民族衣装

サロンケバヤ

主な国

- インドネシア
- シンガポール
- マレーシア

1章

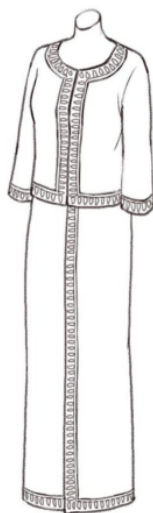
アジアの民族衣装

衣装解説

サロンケバヤは、「サロン」と呼ばれる1枚の腰布と上着である「ケバヤ」を合わせて着用します。体のラインが出るびったりとしたシルエットに、鮮やかな模様や刺繍があしらわれているのが特徴。インドネシアでは、主に礼服として着用されることが多いようです。シンガポール航空のユニフォームとしても有名で人気が高い衣装です。

ケバヤは薄手で透け感があることが多いです

1枚の大きな布を巻き付け、スカートのように履いています



透け感がなく、カラフルで細かな模様がより際立つケバヤを着用することも多いです。細身なので体のラインが目立ちます

マレーシア女性のおしゃれな民族衣装

バジュクロン

主な国

 マレーシア

衣装解説

バジュクロンは、ひざ丈のトップスとゆったりとしたスカートに合わせて着る民族衣装です。長袖で、足首まで丈の長いスカートが主流のスタイルです。肌の露出や体のラインを出すことが好まれない文化のため、体全体を覆うように仕立てられています。色や柄を自由に選ぶことができるのもバジュクロンの魅力の一つです。

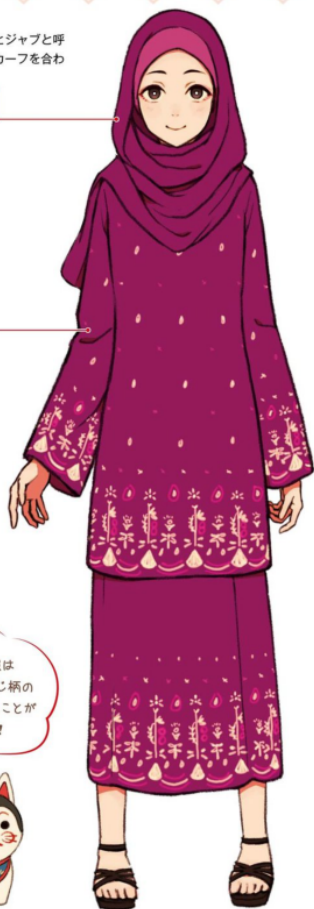
顔を覆うヒジャブと呼ばれるスカーフを合わせます

全体的にゆったりとしていて、動きのあるシルエットが特徴です



バジュクロンの色や柄には多くの種類があります。スパンコールやラインストーンなどの装飾が用いられているものも多いです

上下の服は同じ色や同じ柄のセットになることが多いよ！



フィリピン女性の品のある華やかな正装着

テルノ

主な国

フィリピン

1

アジアの民族衣装

胸元や袖の刺繍には、美しい金糸やビーズが用いられています

バフスリーブやパタフライスリーブなどの袖が一番の特徴です

衣装解説

テルノの生地はパイナップルの繊維でできている、とても珍しい民族衣装です。糸を粗く織り、薄手で透け感のあるのが特徴的です。パイナップルの繊維を使った縫製技術、繊細で美しい刺繍はフィリピンの伝統工芸ともいわれています。ゆとりのあるテルノは涼しく、一年中温暖なフィリピンで過ごすのに適しています。

ひざまでフィットし、裾はフリルでかわいらしいシルエットです



シルエットは、マーメイドラインの他にも、Aラインやスレンダーラインなど様々で、どれも華やかです

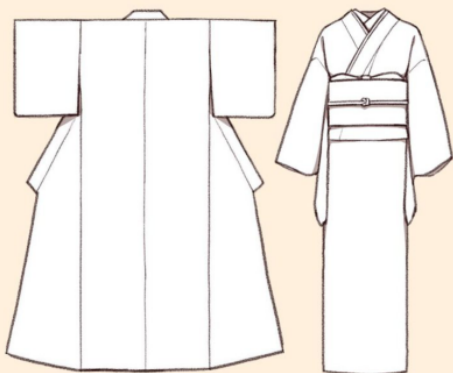


アジアの 民族衣装の形式

アジアの民族衣装は、大きく分けて2つの形式があります。貫頭衣と巻布衣です。
2つの形式からアジアの民族衣装を深掘りしていきましょう。

かんとう い 貫頭衣

貫頭衣とは、中央の穴から頭を出して着用する衣装のことです。3世紀、当時の日本は袖のない貫頭衣を着用していました。一方、先進国である中国ではすでに、現在の日本の着物に類似した袖のある衣装がありました。日本の着物の原型が、すでにこの時代にあったことがわかります。中国の古代の衣装を真似て日本の着物ができあがり、人々に広く長く愛されて現代に至ります。日本だけでなく、韓国やベトナムなどの近隣諸国も、中国の古代の衣装から影響を受けています。こうして、貫頭衣から進化した袖のある形式の衣装がアジアに広がっていきました。



かんぶ い 巻布衣

アジアでは、巻布衣の形式の民族衣装も非常に多く見られます。その中でもよく目にするのが、サロンと呼ばれる巻布衣です。サロンは布を腰に巻き付けて着用します。インド、インドネシア、マレーシアなどでよく見られる形状です。本書でも登場しているサリーやサロンケバヤも代表的な巻布衣として知られています。巻布衣は巻くだけでは、歪んだり、ほどけたりして、体にフィットさせるのは難しくなっています。ですので今日では、スカートのように仕立てて着用しているケースも多くあり、巻布衣からスカートの形式に変わりつつあるのが現状です。



2章

現代衣装 × 民族衣装



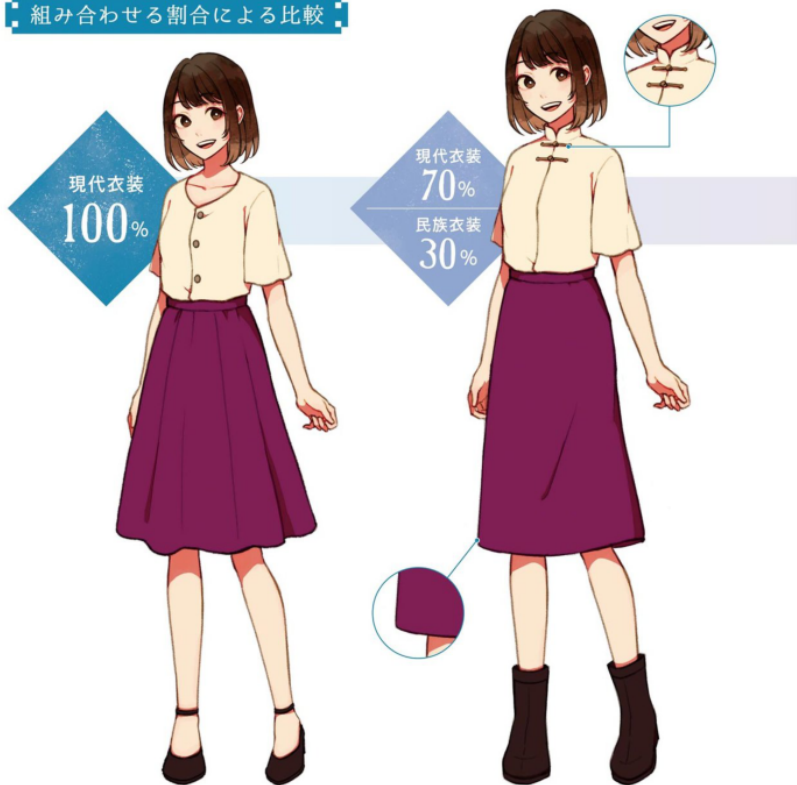
2章

現代衣装
×
民族衣装

現代衣装と民族衣装を 組み合わせる

現代の衣装との組み合わせは最も簡単なアレンジ。
どちらの要素をどの程度残すのかを考えながら、デザインしましょう。

組み合わせる割合による比較

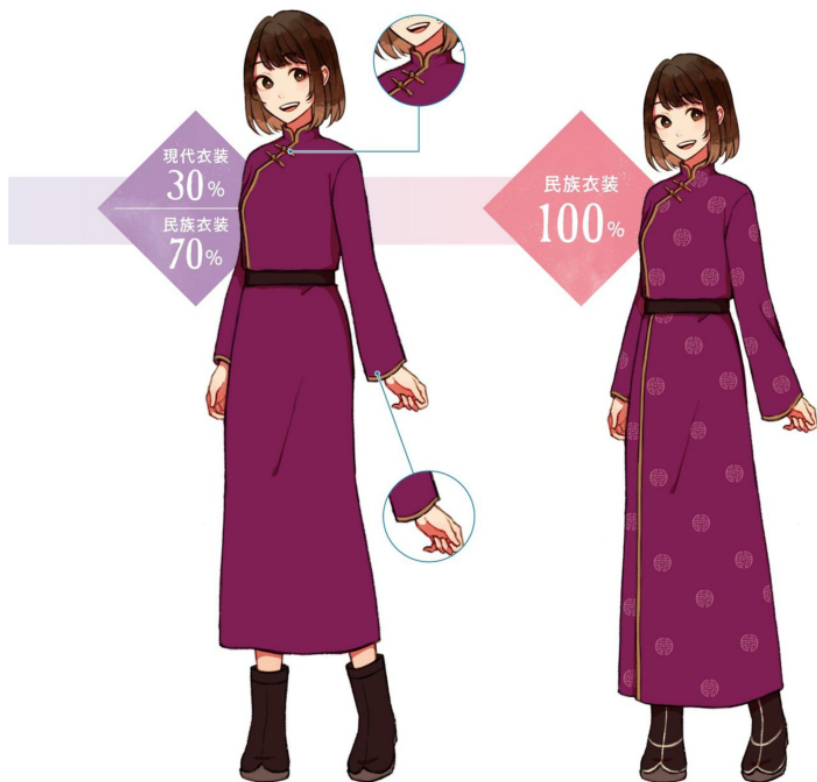


組み合わせる現代衣装のデザインを決めましょう。ここではブラウスにスカートというスタンダードな服装にしましたが、実際に題材とする服装は自分の好きなもので大丈夫。慣れればどんな服装でも組み合わせられます。

現代衣装をベースにして、民族衣装であるデールの要素を足したもの。シルエットはほぼ現代衣装のまま、特徴的なボタンや立襟を追加したり、素材を変えてシワをなくしたりして、民族衣装のデザインに寄せました。



ここで説明した要素を足してデザインする
考え方の他にも、現代衣装と民族衣装を
着合わせるという方法もあるよ。たとえば着物の上に
パーカーを羽織ってみる (P.65) とかね



民族衣装をベースにして、現代的にしたもの。シルエットはほぼデールですが、特徴的な要素を削ることで現代衣装に寄せました。たとえば袖と裾は普通の長にし、スカートのラインもなくて現代的にしています。

モンゴルの民族衣装、デールです。防寒や防風の役割を持つ立襟や、乗馬の際のムチとしても活用される長い袖が特徴的。比べてわかる通り、民族衣装には現代衣装ではあまり盛り込まれない要素が詰まっていますね。

女の子の憧れ！清楚でかわいい王道の学生服

セーラー服

デザイン意図

黄色の衣装に合うような、ショートカットで、明るくて活発な女の子を描きました。ケミスらしいふんわりとしたシルエットと、セーラー服の特徴である短いブラウスで、バランスを意識して組み合わせました。靴はブーツでおしゃれに。農業高校の制服をイメージしたため、作業用の手袋を着用し、遊び心をプラスしています。

ケミス ▶ P.31

ラフ



セーラー服
×
ケミス

タイトなブラウスと胸元のネクタイでセーラー服らしい印象に

スカートはケミスの特徴を活かし、動きのあるギャザースカートにしました



ポシェットは、衣装と同じ鮮やかな柄をプラスして統一感を持たせました。丸くて小さいポシェットで女の子らしい印象にしました

セーラー服
×
着物

和柄の刺繍に大きな袖で、着物らしいカーディガンに

ルーズソックスに草履という斬新な合わせ方を取り入れました

デザイン意図

かわいいものやおしゃれなものが好きな、ガーリーな女の子をイメージして描きました。和服を合体させた和服カーディガンが目引くようにデザイン。カーディガンや草履が和服の印象を強くしているので、合わせたセーラー服はベーシックな形やデザインを残しています。色合いは赤と水色ベースにしつつ色味を落ち着かせ、レトロな雰囲気を意識。

着物 ▶ P.14

セーラー服
×
ガガラ

スカートはガガラをベースにしたボリュームのある巻きスカート

デザイン意図

真面目で勉強好きな女の子をイメージしました。スカートをガガラのようなロング丈にし、特徴的な刺繍をスカートの裾やブラウスの袖に入れています。それだけではガガラの印象が強くなったので、セーラー服の要素である学生カバンや靴下、スニーカーなどを取り入れてバランスを取りました。

ガガラ ▶ P.26

セーラー服と並ぶ人気のメジャーな学生服

ブレザー

デザイン意図

運動部に所属していて、友達が多く、元気で明るい女の子をイメージして描きました。現代のベーシックなブレザーの制服に、主に柄を使ってキラの要素を加えています。肩に掛けたラチュやリボン、スニーカーなどに、キラでよく見られるひし形模様を入れて統一感を出しています。髪型は学生らしくポニーテールにしました。

キラ ▶ P.38



配色のベースを決めると統一感が出る！このデザインは紫がベースだよ

ラフ



全体に濃い色合いなので、セーターを明るいベージュに



ブレザー
×
キラ

ラチュはマフラーのイメージでデザインしました



バッグもごんな風に柄を入れておしやれに。ファスナーの引き手は金具だと雰囲気が固くなるので、フリンジ状に



ブレザー
X
デール

丸い帽子は、マルガエをイメージ

デールの帯であるブスでウエストを引き締めたデザインに

デザイン意図

私立高校に通う、おっとりとしたお嬢様のイメージで、ロングヘアーがよく似合う女の子です。デールは腰に帯を巻く長衣のことなので、ワンピースタイプの制服をイメージしました。デールの要素は、帽子や帯を中心に残しています。お嬢様らしく、靴はローファー、茶色の革の学生カバンなど、世界観にこだわって描きました。

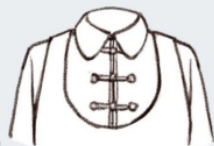
デール ▶ P.29

襟元のバリエーション

民族衣装らしさを

どれくらい残すかを考えよう

民族衣装の「らしさ」をどれくらい出すかは、要素をどれだけ残すかで調整することができます。首の詰まった立襟はデールの印象が強いデザインなので、立襟の要素を残すとよりデールらしいデザインになります。襟以外にも、左右の布の合わせ方やボタンのデザインを取り入れることでデールらしさを表現できます。それをなくす場合は、他の部位にデールらしい要素を足す必要が出てきます。イラストは上から民族衣装らしさが多い順で並べた例です。



白や茶系だけだと落ち着きすぎたので、紺色を差し色にしてアクセントにしたよ!

ビジネスや冠婚葬祭など、あらゆる場面で万能な衣装

スーツ

デザイン意図

仕事ができるキャリアウーマンの女性をイメージ。フォーマルな印象を与えるスーツに、美しいシルエットのテルノを合わせました。テルノの多くは袖がバフスリーブになっているため、スーツ特有のカチッとした印象が弱まります。髪をきちんと結って、ピンヒールの靴を履かせることで、キャラクター性を表現しました。

テルノ ▶ P.41

スーツ
×
テルノ

バフスリーブの袖で、
ゴージャスな印象に

ラフ



かしこまりすぎないよう、
スカートの裾にか
わいらしさをプラス

無地だと地味なので、
リボンや散や袖などに
刺繍をほどこすことで
華やかにしたよ！



スーツ
×
バジューロン



バジューロンのスカート
を、あえてパンツスタイ
ルにしてスッキリ

デザイン意図

控えめで緊張している、入社したての新人OLをイメージしました。ベースは華やかな青が目を引くスーツです。バジューロンは、ゆったりとしたスカートが特徴なので、その感じを残したパンツにアレンジ。襟や袖にはバジューロンのようにスパンコールやラインストーンの装飾がついた柄が入っています。

バジューロン ▶ P.40

同じテーマでも
ちょっとしたアレンジで
印象を変えることが
できるよ！



バジューロンに合わせ
るヒジャブは、首に巻
いてスカーフ風に

スーツ
×
バジューロン

あえて華やかな色合いに
することでファンタジーな
雰囲気になるよ！



デザイン意図

上のキャラクターがようやく仕事に慣れてきたところをイメージして描きました。組み合わせは同じですが、上のデザインに比べて慣れている感を出すため、前開きのジャケットにし、かしまったパンツではなくスカートを採用。カラーリングも華やかなパステルピンクをベースにし、小花柄を加えてよりガーリーにしています。

バジューロン ▶ P.40



伸縮性があって動きやすいトレーニングウェア

ジャージ

デザイン意図

男勝りで根性があり、仕事に熱心な女の子をイメージして描きました。動きやすいジャージに組み合わせるため、思い切ってカフタンを短い丈の羽織にしてみました。その分、金糸の刺繍は全体に入れてカフタンの要素を残しています。工場の作業服をイメージし、作業用のゴーグルを身に付けています。

カフタン▶P.36

ジャージ
×
カフタン

外ハネの髪型で女の子の活発さを表現しています



ラフ



靴や帽子などの服飾にもカフタンの刺繍を取り入れました

裾をまくることでよりジャージらしい印象に仕上げました



デザイン意図

運動神経がよく、負けず嫌いな女の子をイメージして描きました。ジャージといえば運動ですが、チマチョゴリは動きやすい印象のある衣装ではないので、スカートのチマを大胆にスボンスタイルにアレンジしています。その代わりチマチョゴリの特徴である襟やリボンを活かし、ボーイッシュになりがちなジャージをかわいらしい印象にしました。

チマチョゴリ ▶ P.23



髪型はキャライメージから、スポーツの邪魔にならないようなきっちり結ったものに！



夏仕様は、半袖にショートパンツで爽やかな印象を与えます

配色と柄のパターン

スポーティーにも
エスニックにも変身できます
トップスの形はそのまま、配色や柄を変えてみましょう。左のデザインから右のデザインにかけて、ジャージからチマチョゴリらしくなるのがわかります。自分好みの配色や柄を組み合わせるのも楽しみ方の一つです。



1枚で楽にかわいく着られる便利なスタイル

サロペット

デザイン意図

ボーイッシュでさっぱりとした性格の女の子をイメージ。鮮やかな配色が目を引く柄の壺装束と、ショートパンツのサロペットを合わせました。トップスにボリュームがあるので、タイトなショートパンツを合わせてスッキリ見えるようにしました。遊び心ですが、右ページの女の子と双子の設定にしています。ぜひ、そちらにもご注目。

壺装束 ▶ P.19

ラフ



壺装束の特徴である懸帯が後ろ姿のアクセントになっています



ハイウエストのサロペットが現代らしさを強めています



サロペット
×
壺装束

赤茶のラインを加えて、衣装にまとまりを持たせています

トップスは壺装束の大きい袖を残し、ボリューム感を出しました



チャイナボタンが
チーパオらしさを引
き出しています

サロベット
×
チーパオ

デザイン意図

控えて物静かな女の子をイメージしました。ミニスカートのサロベットに、日本でもよく知られているチーパオを合わせました。チーパオの特徴であるチャイナカラーと呼ばれる、首がつまった襟を残しました。ミニスカートのスタイルのよい印象に。左ページの女の子と双子の設定なので、お揃いのカチューシャを身に付けています。

チーパオ ▶ P.21

サロベットの特徴で
ある肩紐がスタイル
のアクセントに



肩紐を背中でクロスさせ、後ろ姿にもデザイン性を持たせました

サロベットのバリエーション

カジュアルからガーリーまで 種類豊富なサロベット

ウエスト部分の幅が広く、コルセットのようなサロベットは華奢な印象を与えます。デニム生地のサロベットは合わせやすく、カジュアルな印象に。サロベットは種類が多いので組み合わせ次第でイメージは広がります。



コルセットパターン



デニムパターン

ふんわりシルエットがかわいい！女の子のデート服

ワンピース

デザイン意図

素直で明るく、よく笑う女の子をイメージしました。チマチョゴリのリボンであるオックスフォードカラーがアクセントのワンピースです。チマチョゴリのスカートのチマを活かし、ボリュームのあるシルエットに。本来、チマの丈は長いですが、王道のワンピースらしく短めにアレンジ。三つ編みのおさげヘアで幼さを感じさせています。

チマチョゴリ P.23



おでかけに行くイメージだったので、おしゃれをした感じを出してみました！

ラフ



ワンピース
×
チマチョゴリ

丸襟にバフスリーブで甘くガーリーなデザインにしました

黄色に濃淡をつけ、夏らしさを感じさせることにこだわりました

チマチョゴリらしく、襟やスカートには花柄を加えました

デザイン意図

品があり落ち着いたイメージで描きました。衣装はアオザイの要素を多く残し、帽子や靴などの装飾も民族らしさを。トップはびつたりとしています。ふんわりとしたスカートでバランスを意識しています。紫をベースにして、上品で大人っぽいデザインのワンピースを目指しました。ゆるく結った髪で清楚な印象にしました。

アオザイ ▶ P.24

ワンピース
×
アオザイノンラーと呼ばれる葉
笠をかぶり、民族らし
さをプラスワンピースや靴には、ア
オザイの特徴である刺繍
を加えました背中を大きく開け、女性らしくセ
クシーなスタイルにしてみました

カゴバッグのバリエーション

アジアスタイルに合う
種類豊富なカゴバッグ

ベトナムのホーチミンなどには雑貨屋がたくさんあります。中でもカゴバッグが人気で、普段使いやお土産としても好まれています。丸形や四角形、大きいものから小さいものまで、種類豊富。おしゃれのアクセントになりますね！



編み目がかわいらしく、寒さから体を守る優れたもの

ニット

デザイン意図

女の子は、かわいらしくおっとりした、天然な性格をイメージして描きました。上着はエンジーにニットを合わせました。スカートはロンジーの特徴である巻きスカートにし、右腰で留めているデザインに。スカートのカラフルな配色と柄で、さらにロンジーらしさを加えました。ゆるふわなボブヘアにしたのは、キャラクターの性格を表現するためです。

ロンジー ▶ P.34



冬のイメージだから、インナーは厚手の生地を想定してシワを少なく描いてるよ！

ラフ



ニット
×
ロンジー

タイトなスカートとのバランスを意識して、大きめのカーディガンに

ニットが明るい暖色なので、ロンジーを暗めにして引き締めました

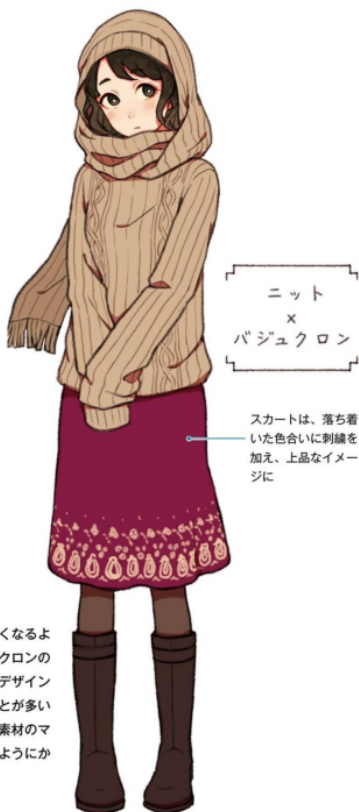
ニットは冬のイメージなので、季節感を出すためブーツを合わせました



デザイン意図

おしゃれが好きで背が高く、モデルのような女の子をイメージしてデザイン。鮮やかな模様や刺繍が特徴的なサロンケバヤを、丈の長いニットワンピースにアレンジしてみました。刺繍部分のカラフルな配色にもこだわりました。カジュアルな印象にしたかったので、ジージャンを羽織らせ、足元はスニーカーで動きやすい格好にしました。

サロンケバヤ ▶ P.39



デザイン意図

控えて恥ずかしがり屋、守ってあげたくなるような女の子をイメージ。ひざ丈のバジュクロンの上に、ゆったりとしたニットを着用したデザインにしました。バジュクロンに合わせるが多いヒジャブと呼ばれるスカーフを、ニット素材のマフラーにアレンジしています。フードのようにかぶってもかわいらしいです。

バジュクロン ▶ P.40

生地が丈夫でカッコいい男前ジャケット

ライダーズ

デザイン意図

しっかり者で気が強く、おしゃべり好きな女の子をイメージ。やわらかい色合いでかわいらしくなりがちな漢服に、あえてカッコいい印象のライダーズを羽織らせることでギャップを狙ったデザインに。ライダーズの丈を短めにし、ワンピースとのバランスを意識しています。ワンピースは漢服らしくなるように花柄を入れています。

漢服 ▶ P.20

ライダーズ × 漢服

漢服の着方と同様に、ウエスト部分は帯で締めています

漢服の広い袖に合わせ、ライダーズの袖も広めにアレンジしました

漢服はビスカート丈は長くせず、ひざ丈のワンピースにアレンジ



ラフ



ライダーズ
×
クイネク

ジャケットの襟元やインナーにクイネクらしい刺繍をプラス



インナーには、クイネクの特徴である少し胸元が開いたものを着用



服装がかっこよくても
身に付ける
アイテム次第で
カジュアルにも
ガーリーにもできるよ！

デザイン意図

ドライで口数が少なく、冷静な女の子をイメージして描きました。ベースは深い緑で、細かい柄を加え、デザイン性のあるライダーズに。長めで大きめのジャケットに、タイトなショートパンツを合わせ、スタイルがよく見えるよう意識しています。キャップやスニーカーなどを合わせ、全体的にボーイッシュでカジュアルな印象に。

クイネク P.32

形を変えたデザイン

丈を長くするだけで
違った印象のデザインに

ライダーズの丈を長くすることで、ロングコート風にデザインしてみました。ライダーズに限らずトップスは丈を長くすることで、手軽にコートやワンピースにアレンジできます。デザインに詰まったら、試してみてください。



寒い冬に活躍！ほっこり温かみのある防寒着

ダッフルコート

デザイン意図

おっとりとしている不思議ちゃんをイメージしてデザイン。チュバのゆったりとしたシルエットと広い袖を残したダッフルコートにしてみました。チュバもダッフルコートもアウターなので、デザインの相性はとてもいいです。フードやポケットなどはダッフルコートの要素を活かしています。全体的に暗めなので、帽子や手袋を差し色の明るいピンクにしました。

チュバ ▶ P.22



シンプルな
カラーリングに
なった時は
差し色でアクセント
をつけよう！

ラフ



ダッフルコート
×
チュバ

右留めのボタンは
チュバのデザインを
活かしています

もこもこの手袋やブー
ツなどを取り入れて冬
らしいスタイルに

ダッフルコート
×
アットウシ

えんじ色と白のライン
が、衣装のアクセント
になっています

ムートンブーツには、女
の子らしく小さなリボ
ンがついています

デザイン意図

マイベースでのんびり屋、ぽーっとしがちな子のイメージで描きました。ダッフルコートの形をベースに、袖や裾などにアットウシの特徴であるアイヌの文様を取り入れています。独特の文様が入ったことで、珍しくもかわいらしいコートに。配色は、アットウシのイメージである、紺色、えんじ色、白の3色をベースに配色しました。

アットウシ ▶ P.16

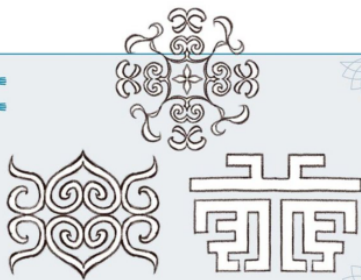


フードにもアットウシ特有のアイヌの文様を加えています

アイヌの文様デザインパターン

生活用具や儀式用具など様々なものに文様が描かれています

アイヌの文様には主に魔除けの効果があるといわれています。アイヌの文様の入れ方は、布を切って衣服に貼り付けたり、刺繍にしたり、様々です。文様のデザインもいくつか種類があるので、調べてみると面白いですよ。



着心地がよく合わせやすい、フード付きの上着

パーカー

デザイン意図

元気で行動力があり、わんぱくな女の子をイメージしてデザイン。足首まで長い丈のコートとして知られているクルテを、大胆にひざ丈までの短いパーカーにアレンジしてみました。クルテの特徴である胸元の刺繍はそのまま活かしています。海の近くに住んでいるイメージがあったので、日差し対策のために長袖にしました。

クルテ ▶ P.33

パーカー
×
クルテ



デザイン意図

おかつぱへアーに小柄な体格で、インドアな女の子をイメージしました。着物の特徴である大きく広がった袖を活かし、パーカーをアレンジ。パーカーの中には法被を着て、和の要素を強く残しています。トップスがゆったりとしていてボリュームがあるので、バランスを取るために、スリッパとしたショートパンツを合わせました。

着物 ▶ P.14

さりげなく裏地や帯に七宝柄を入れて、和風を演出しています

現代要素のショートパンツとスニーカーでラフな印象に

パーカー
×
着物



より着物らしいパーカーに近づけるため、背中には富士山の模様

和風模様のバリエーション

古くから愛される和風模様をデザインに取り入れよう

衣類に和風模様を加えるだけで、与える印象が変わります。波や松は正統派の芯がある印象。椿や桜は品があり女性らしい印象。桜や雛は勢いがあり力強い印象。キャラクターのイメージに合わせ、取り入れる和風模様を考えてみて面白いですね。



女性の誰もが憧れる、花嫁のための美しいドレス

ウェディングドレス

デザイン意図

おっとりとした、優しい性格の女の子をイメージしました。カラカの長く大きな布を、ウェディングドレスのシルエットにアレンジ。カラカよりスカート丈は短く、シルエットもふんわりとさせました。衣装の袖や裾、頭のバンダナの柄は合わせて統一感を出しています。頭のバンダナには花を装飾し、より花嫁らしい印象に。

カラカ ▶ P.35

折り返した布が下から少し出るカラカのデザインを、二重のスカートという形で表現

ラフ



ウェディング
ドレス
×
カラカ

ボリュームのある
長い袖は、カラカ
の要素を強く残し
ています



えんじ色のレースが女
性らしく、衣装のアク
セントになっています

ウェディング
ドレス
×
白無垢

デザイン意図

女優さんのようなイメージでデザイン。どちらも婚礼で着用される白無垢とウェディングドレスを組み合わせてみました。和洋折衷がポイントになるので、要素のバランスを意識。トップは白無垢の打掛らしさを残し、スカートやヴェールはウェディングドレスを活かしました。洋の印象が強いため、草履を履かせて和に寄せています。

白無垢 ▶ P.17

懐刺を加えて、白無垢の要素を取り入れました

形がウェディングドレスに引っ張られているので、紅裏にして白無垢感を出しています

動きのある大きなフリルで、現代らしい印象のドレスに

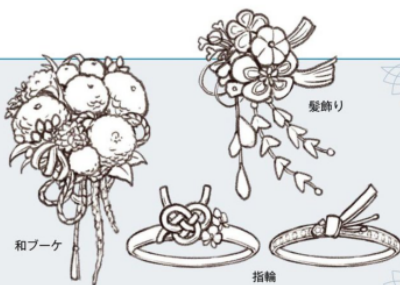


レースのリボンやフリルが繊細かつ美しさを感じさせます

和風のウェディング小物

ブーケや髪飾りなど
小物でもっと和風を取り入れる

洋装のイメージが強いウェディングドレスに、和風の小物を加えてみるのもいいでしょう。菊や椿のブーケに、日本伝統のつまみ細工で作られた髪飾り。祝儀で用いられる水引をイメージしたリングも斬新で面白いです。



海やプールで着用する衣服も女の子はかわいく

水着

デザイン意図

パカンスを満喫中の女性をイメージしてデザイン。琉装を大胆にアレンジし、セクシーなビキニタイプの水着にしてみました。配色は、琉装らしく赤、青、黄色といったカラフルで目を引く色合いにし、全体的に夏や沖縄を感じてもらえるようなデザインにしました。普段は仕事でできて頼れるキャリアウーマンです。

琉装 ▶ P.15

手にアイテムを持たせることで
デザイン設定をより
表現しやすくなるよ！

ラフ



華やかなハイビスカスが、沖縄らしさをより感じさせます

水着
×
琉装

胸元は、琉装の襟元を
活かしつつ、リボン
でキュートに

かわいらしく鮮やかな
花柄は、夏や沖縄のイ
メージにぴったり



豪華な金細工のアクセサリで、タイらしく

金糸の刺繍やレースを取り入れ、デザイン性のある水着に

デザイン意図

美しい踊り子の女性をイメージして描きました。タイドレスは、肩布であるサバイが特徴的。水着はシンプルなデザインになりがちですが、サバイを両腕に掛けて動きのあるデザインにしました。ピアスやネックレスなどのアクセサリは、アクセントとして大きめにしています。髪は後ろにまとめ、スッキリとしたアップスタイルに。

タイドレス ▶ P.30



サバイを腰に巻いて結び、巻きスカートのようアレンジすることもできます

レースや柄、装飾をすべて金にすることで統一感とタイドレス感を出したんだ！



水着のバリエーション

様々なデザインで水着をもっとかわいく

タイドレスをアレンジした水着を、3パターン作ってみました。肩紐のないバンドゥピキニやボトムがスカートのようななど、色々なタイプの水着に柄や小物を付け加えて自分のオリジナルデザインを作ってみましょう。



レース付きピキニ



バンドゥピキニ



スカートタイプ



現代小物を 民族アレンジ

現代衣装だけでなく、現代の小物にも民族アレンジを加えてみましょう。
アレンジによって、どうアジアンらしくなるか紹介します。



ヘッドホン

頭に当たる部分は芯材が入った布製で、ターバンのような見た目にアレンジ。
耳元で揺れる大きな飾りがより民族らしい印象に。



腕時計

ベースは木製で、ビーズやストーンを埋め込んだかわいいデザインに。紐を結んで腕に固定するミサンガのような腕時計にしました。



スマートフォン

アジアの民族衣装によく見られる、織物で製作した手帳型のカバーです。印象的なタッセルのストラップを付けています。



本書で登場しているブレザーの女の子 (P.48) に、アジアンテイストにアレンジした現代の小物を持たせました。現代の小物をアジアンテイストにアレンジしたため、キラの要素を加えたブレザーの制服にもよくなじんでいます。キャラクターから、この世界の学生はどのように通学するか、駅や乗り物はどのようなものかなど、世界観を広げて考えるとデザインに深みが増します。

3章

ファンタジー × 民族衣装



3章

ファンタジー

×
民族衣装

ファンタジーと民族衣装を組み合わせる

自由にデザインができる反面、想像力が求められる組み合わせ。組み合わせるテーマとキャラクター設定をしっかりと考えることが大事です。

ファンタジーを組み合わせる場合の手順

ファンタジーとの組み合わせ手順を紹介します。常にこのやり方である必要はありませんが、設定から要素を割り出す考え方は応用も効かせやすく便利です。

いきなりキャラクターデザインをするのは難しいから、順を追って進めよう！



ベール



ロザリオ



聖書



修道服



① 設定を考えて、要素を割り出す

まずは何と何を組み合わせるのかを決めます。ここでは聖職者×洋服としました。その後、どんなキャラクターになるのか想像しましょう。ベテランなのか新人なのか、クールなのか明るいのか、そういった設定がデザインのコンセプトになります。設定を決めたらどんな特徴が考えられるかを描き出しましょう。これがデザインの元となる要素になります。

② 民族衣装と組み合わせる

描き出した要素を、実際に民族衣装に組み合わせていきます。ファンタジー要素ベースでも、民族衣装ベースでも構いませんので、それぞれの特徴を組み合わせさせていきましょう。デザインそのものを合体させる考え方と、民族衣装をそのまま着合わせる考え方の2つのアプローチを意識してください。この2つの考え方があれば、大抵のものは組み合わせることが可能です。

同じ組み合わせでのデザイン変化

料理人×アットゥシで2種類のデザインをしてみます。同じ組み合わせであっても、キャラクター設定を変えれば全く異なるデザインになります。

◆ アイデア重視の料理人

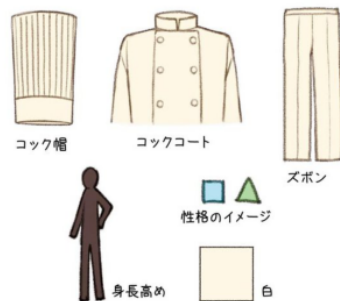


① マイペースで気分屋、料理は見た目や盛り付け重視な料理人。という設定からスタート。そこに、かわいいものが好き、食事よりもデザートが得意、というようにキャラクター像を足してイメージを膨らませ、デザインに盛り込みたい要素を考えます。

② デザートが得意というイメージからパティシエっぽくしてみました。文様を大きく取り入れたことで、アットゥシ独特の雰囲気と、明るい印象を作り出しています。帽子に入れた文様もキャラクター性に合わせて、キラキラしたイメージにしてみました。



◆ 職人氣質な料理人



① まずはじめでしっかり者。シンプルな盛り付けで、味と素材重視の料理人、という設定で考えてみます。その場合、より大人っぽいデザインが合います。また、イメージで浮かんだのはフランス料理人だったので、コック帽などの要素も加えていきます。

② コックコートの上からアットゥシを羽織らせるイメージでデザイン。シンプルなデザインを目指し、文様は最低限に。そのままアットゥシを着せても不自然なので、シルエットは残しつつ、ボタンを取り付けたり色を白にしたりして料理人感を出しました。



ファンタジーの王道である魔法の使い手

魔女

デザイン意図

落ち着きがある魔法学校の先生をイメージしてデザイン。明るいイメージにしたかったので、魔女らしい暗い色ではなくあえて白をメインにしました。着物は縦にスッカリとしたシルエットですが、ボリューム感を出したかったので、帽子を大きめにし、袖丈を広げています。肩の黒猫は魔女らしさを出すために。

着物 ▶ P.14

お姉さん感を出すため髪型はサイドでまとめたフィッシュボーンに

帯をコルセットにすることで和と洋の素材のバランスを整えました

ラフ



魔女
×
着物

袖の先が破けたデザインにすることで、魔女の怪しさを表現



オバケが出たり入ったりする、不思議で不気味なバランジャに

デザイン意図

グレーや紫といった暗色をベースにし、怪しい熟練の魔女をイメージしました。丈が長く、日差しをさえぎるバランジャは、暗闇を好む魔女にはぴったりの衣装です。柄はドクロや蜘蛛の巣をモチーフにしたデザインにして、魔女のファンタジー要素をたっぷり表現しました。首元や足元の細かいところにも蜘蛛の巣を加えました。

バランジャ ▶ P.37

カゴには、魔女が魔法で作った毒入りの果実が入っています

ガガラのエスニックな柄を活かしたデザインにしました

デザイン意図

恥ずかしがりやの見習い魔女のイメージで、前髪や帽子で顔を隠しがちなデザインに。ガガラの広がりのあるスカートを参考にしつつ、ワンピースにアレンジ。大きな帽子のベールや足首のアンクレットなど、装飾品でキュートな印象に。ふんわりと広がるベールは、衣装に動きを持たせています。配色のベースは紫ですが、水色を足すことでかわいらしくしています。

ガガラ ▶ P.26



美しく、純白の羽を持つ神様の使い

天使

デザイン意図

優しく美しい天使のイメージにしたかったので、白く透明感のある肌と金髪のロングヘアに。ランガードドレスのシルエットを活かしたシンプルなデザインです。天使らしさを出すため、白と黄緑をベースにした配色で、光と自然を感じてもらえるようこだわりました。衣装や髪にボリュームがあるので、羽を小さめのサイズにしました。

ランガードドレス ▶ P.27

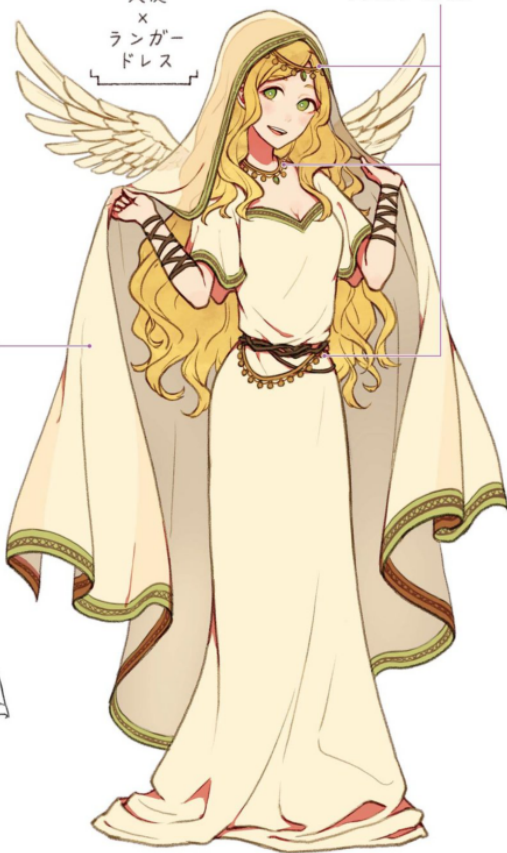
天使

×
ランガード
ドレス

神々しさを出すため金の
アクセサリーをプラス

ふんわりと透け感のある
ベールは、天使をより
神聖な印象に

ラフ





天使
×
チーバオ

首のつまった襟は、チーバオの特徴をそのまま活かししました

透け感のあるレースのストールは、羽衣をイメージしています

デザイン意図

まだ幼く見習いのような天使をイメージして描きました。ベースはチーバオですが、レースやフリルを多用し、配色は白と薄いピンクでまとめ、チーバオをどこん甘くかわいい印象にしました。影色には、星空をイメージした紺色を使い、アクセントにしました。大きな羽と天使の輪を取り入れて、よりキュートな印象に。

チーバオ P.21



キュロットタイプのベチコートが幼くてかわいい印象に

チーバオを靴にアレンジ

衣装のデザインをそのまま靴に広げるアイデアとデザイン

チーバオのチャイナボタンと羽をミックスしたり、チーバオの襟をパンプスとブーツにアレンジしたり。衣装のデザインは靴にも代用できるので、色々試してみてください。おしゃれは足元から、ともいいますしね。



羽とチャイナボタンのミックス



詰襟アレンジ



紐留めアレンジ

巧みに人々を惑わし、時に災いをもたらす悪の徒

悪魔

デザイン意図

薄暗く湿っぽい館にいて、控えめな暗い女の子をイメージ。頭から深くかぶるバランジャにはボリュームがあるため、スカート丈を短くして足をスッキリ見せ、全体の印象が重くならないようにしました。怪しさを表現するために、頭や首、足などに包帯を巻き付けました。鋭く尖ったツノや長いしっぽは、悪魔らしさを表現しています。

バランジャ ▶ P.37



髪型としっぽにハートのモチーフを入れて遊んでみました



悪魔
×
着物

脚を出しつつブーツを
合わせてセクシーでお
しゃれな印象に

デザイン意図

色気があり、誘惑上手なお姉さん悪魔をイメージ。ベースの着物は着崩して上半身のみとし、下半身に短い丈のフリルスカートと組み合わせてセクシーにしました。宙に浮いている時に袖やスカートがふんわりするように意識してデザイン。ツノは尖らせると邪悪な感じが強くなるので、丸みを帯びた羊のツノをベースにしました。

着物 ▶ P.14



帯を大きめのリボンの
形に結び、とことん
ガーリーな衣装に

悪魔のツノのバリエーション

ワンポイントを加えた
ちょびり和風な悪魔に

悪魔は、西洋の文化の一つとして広く知られています。そのため、西洋のイメージが強いので、日本らしいアクセサリをプラスしてみましょう。鬼のような角にすると、アクセサリがなくても和風になります。



羊のツノ 別パターン



牛のツノ



鬼のツノ

死んでいるのに街を徘徊！中国の死体妖怪

キョンシー

デザイン意図

中国らしさを全面に出し、死体妖怪らしくない、小柄でかわいい女の子にしました。キョンシーのイメージから、大きなボリュームのある袖にしました。右袖はフリル、左袖はチャイナボタンで、左右非対称なデザインでユニークに。襟はチーバオらしく、詰襟に。ポーズや表情、おれなどでキョンシーらしさを出しています。

チーバオ ▶ P.21

キョンシー
×
チーバオ

左右非対称に
することで、印象的な
デザインになるよ！



腰から垂れ下がる前掛けは、チーバオのデザインを活かしています

足には黒い包帯を巻き付けて、妖怪らしさを表現しました

デザイン意図

キリッとした顔立ちのボーイッシュな女の子をイメージ。シルエットは丈の短いタイプのサルワール・カミーズを活かしつつ、袖だけ広くアレンジ。飛び跳ねるイメージがあるので、動きやすさを重視し、足元は身軽なパンツスタイルに。中国の妖怪なので、伝統的な靴であるカンフーシューズを履かせ、龍の柄を全体に取り入れました。

サルワールカミーズ▶P.28



腰に帯を足すことで
動きやすさを出して
います

キョンシー
×
サルワール
カミーズ

サロンケバヤを活かした、びつ
たりとしたシルエットです

キョンシー
×
サロンケバヤ



デザイン意図

キョンシーのイメージには反する、かわいらしいイメージを目指しました。透け感のあるレースや短めのスカートで、女性らしい印象に。手先が出ないほど長い袖、右目が隠れている髪型など、どこか不気味さを感じてもらえるようにしました。帽子や帯の装飾品にビーズや紐を付け、動きやデザイン性にもこだわって描きました。

サロンケバヤ▶P.39

気高くたくましい、騎馬で戦う者に与えられる称号

騎士

デザイン意図

テルノらしいバフスリーブの袖を鎧としてアレンジし、勇ましくカッコいい、高貴な女騎士をイメージして描きました。フレアタイプのスカートやロングヘアー、リボンなどをデザインに取り入れることによって、凛としたカッコよさの中にも、女性らしい柔らかさを感じられるようなデザインを目指しました。

テルノ P.41

ラフ



髪を長くしているのも、女性らしさを出したかったからだよ！

騎士
×
テルノ

フレアなスカートをウエストで引き締め、女性らしいシルエットに

鎧をスカート状にすることで、テルノのシルエットを意識



デザイン意図

男性に劣らないほど強く、気高い女性をイメージして描きました。騎士として、身を守るための鎧ではなく、身軽で動きやすい軽装備にしました。チーバオの要素を強くするため、赤がメインの配色になっています。衣装のみだとシンプルなデザインになってしまうので、大きなマントや鋭い刀で強さと迫力を出しています。

チーバオ P.21

手甲や肩鎧など、戦いに向けての装備にもこだわりました



戦うための大きな刀は、背中で背負えるようになっています



刀のバリエーション

キャラクターの特性に合わせて
武器を選んでいきましょう

長いものや短いもの、軽いものや重いもの。刀のバリエーションは様々で、能力も異なっています。キャラクターの特性に合わせて、自由にデザインを考え、オリジナルの刀を作ってみてくださいね。



細身の刀



幅広の刀



柳葉刀型

美しく高貴なファンタジーの定番

お姫様

デザイン意図

おてんばなお姫様をイメージ。チマチョゴリのボリューム感を活かした、ふんわりと豪華なドレスにしました。足首まで丈の長いスカートやフリルは、お姫様をよりかわいらしい印象に。チマチョゴリの特徴である刺繍も、ドレスのデザインに加えています。配色はピンクや白が多いため、影色は青緑にすることで甘くなりすぎないように。

チマチョゴリ ▶ P.23

外ハネのロングヘアー
にして、明るくおてん
ばなイメージに



お姫様
×
チマチョゴリ

組紐アクセサリーの
ノリゲで胸元にアク
セントをつけました



影もただ暗くするのではなく
意識して色を付けることで
印象の調整ができるよ!



お姫様
×
サリー

インドのアクセサ
サリーのティカを装飾
品に



肩布やスカートの裾に、
刺繍や紫を加えて衣装
のアクセントに

デザイン意図

好奇心旺盛なお姫様で、市民の生活や暮らしに興味があり、街に出てきてしまうという設定です。サリーの形をベースに、スカートにボリュームを持たせることで、お姫様らしいドレスに仕上げました。サリー独特の布を肩に掛ける着方は、そのまま活かしています。褐色の肌に暗めの髪色なので、ドレスはパッと明るい色にしました。

サリー ▶ P.25

お姫様
×
白無垢

白無垢の差し色は赤が
基本ですがピンクにす
ることでかわいらしく



足元は、草履をイメー
ジしたパンプスにア
レンジしています

デザイン意図

雪や氷の世界という設定で、控えて上品なお姫様をイメージしました。水色のロングヘアーをゆるく結って、女性らしい印象に。白無垢を参考にしたドレスは、白に淡い水色を加え、雪のイメージを表現してみました。頭の綿帽子はアレンジを加え、お姫様の象徴であるキラキラとしたティアラの装飾が付いています。

白無垢 ▶ P.17

料理や掃除はおまかせ！ 家事が得意な女性使用人

メイド

デザイン意図

明るく接客上手ですが、おっちょこちょいなメイドを描きました。着物の重なった襟元や広い袖を残しつつ、メイドらしいAラインのワンピースに仕上げました。メイドのキュートさをフリルいっぱいのエプロンで表現し、ふんわりとしたシルエットにこだわりました。ひょうたんの形を参考にしたティーポットで、遊び要素をプラスしました。

着物 ▶ P.14

メイド
×
着物

ユニークな柄柄の衣装がかわいらしく、幼い印象に



後ろ姿は、エプロンの大きめなりボンでよりガーリーな衣装に



底の厚いぼくり下駄で和の要素をさらに取り入れました

メイド × テルノ

小物があると、
キャラクター性が出るよ。
掃除をサボっている
シーンを想像したから、
モップを持たせたんだ



デザイン意図

仕事が苦手でサボりがちなメイドをイメージしました。このため、あえて髪を金髪に。テルノの特徴である印象的なバフスリーブ、広く開いた胸元を活かしたワンピースにしました。全体的に衣装がシンプルなので、エプロンの長いリボンやフリルの付いたカチューシャを目立たせました。つま先が丸いパンプスで、かわいらしさをプラス。

テルノ ▶ P.41

テルノのスカート丈を短くアレンジし、セクシーな印象に

胸元の濃いピンクのリボンが、衣装のアクセントになっています

メイド × 漢服

袖や背中のリボンなどをレースにして、女の子らしいデザインに



フリルはアジアの衣装ではあまり使われないので、追加すると西洋風になるよ！使用はほどほどに！

デザイン意図

優しく気が利いて、幼いお嬢様のお世話をしているメイドです。髪型は編みこみとお団子で、清潔感のある印象に。漢服のシルエットを活かし、ふんわりとしたロング丈のメイド服に仕上げました。パステルな配色、リボンやレースを多用したデザインで、清楚かつガーリーな衣装を目指しました。

漢服 ▶ P.20



華麗な踊りで人々を魅了する芸者

踊り子



ラフ

花笠は、ハイビスカスの飾りで豪華にし、より印象的に

踊り子
×
琉装

腰に垂れ下がる貝殻やタッセルは、踊るたびに揺れて華やかに

デザイン意図

笑顔が印象的で元気な踊り子のイメージです。踊りを見ているだけでも楽しいですが、衣装から愉快的な気持ちになれるようなデザインを目指しました。琉装はロング丈ですが、踊りやすいよう短めの丈にアレンジしました。より身軽にするため、右の袖を下ろして肩を出す、大胆なデザインに。琉装の華やかな配色や柄は、そのまま活かしています。

琉装 ▶ P.15

踊り子

×
漢服

デザイン意図

イメージは、伝統的な舞を守り続けている踊り子です。ふんわりとしたスカートが印象的な漢服を、ショートパンツにアレンジし、通常の漢服よりも身軽で動きやすい衣装に仕上げました。衣装の配色はピンクや水色などのパステルカラーで、漢服のかわいらしさを残しています。髪型は、お団子に三つ編みでチャイナ風にしています。

漢服 ▶ P.20

飾り布には鈴が付いていて、踊ると美しい音色を響かせます



漢服の透明感を足すため、袖の布を透かしました

パステルカラーの衣装に、扇子やパンツなどで黒を加えて差し色に

色にグラデーションを使うと神秘的な雰囲気になるよ！



動きを出すためのデザイン

衣装の動きを想像してデザインしましょう

衣装の装飾や髪型は、動きを持たせるのにぴったりのパーツです。動きをつけるのが難しいと感じる人は、実際に動いているところをイメージして、見栄えのよくなるデザインを取り入れてみましょう。

長い髪はなびく



鈴は音まで想像できる



紐+装飾は見栄えがよい



人から人へ言葉や想いを届ける配達員

メッセンジャー

デザイン意図

気さくで明るく、街のみんなに愛される郵便屋さんをイメージしてデザインしました。デールをアレンジし、郵便屋さんの制服風にしていきます。首のつまった立襟、ゴタルと呼ばれる先の尖った靴など、デールの特徴を多く残しています。丸みを帯びた大きなカバンに、たくさんの手紙を詰めて、ファンタジー感を出しました。

デール P.29



階級によって制服の色が変わるといった設定があっても面白いかも！

ラフ



制服感とデールらしさを表現するため、衣装はすべて同じ柄で統一

メッセンジャー
×
デール



制服らしさを出すためにパンツスタイルにしたかったので、丈の長いデールを短めにアレンジ

デザイン意図

真面目で仕事熱心な女の子をイメージしてデザイン。大原女は、紺色の着物がベースとされていますが、郵便のイメージである赤にアレンジしました。衣装は紺の絞柄にし、素朴で温かみのある印象に。大原女のたすき掛けを表現するため、デザインとして肩の部分に緑のラインを入れました。郵便物は、大原女のように頭にのせて運びます。

大原女 ▶ P.18

メッセンジャー
×
大原女中にシャツを着用し、
現代らしさを加えたデ
ザインにしました緑の帯を前でリボン結
びにし、差し色かつ
かわいい印象に赤のような派手な色を
使っても、全体の色の
数を絞れば落ち着いた
印象にできるよ！大原女のように、たくさ
んの荷物をせつせと運ん
でいるイメージ

裾や帯のデザイン

裾や帯の結び方や大きさを
変えて自由自在にアレンジ

裾や帯をアレンジすることで、衣装の印象は大きく変わってきます。裾を斜めに留めてみたり、帯のリボン結びの位置を動かしてみたり、アレンジは多彩。シンプルな衣装のアクセントとしても使えます。



裾を斜めに留める



前掛けにアレンジ



帯を増やす

どんな扉も開け閉めできる、秘密の管理人

鍵屋

デザイン意図

重要な鍵や情報を預かっている、秘密が多い女の子という設定でデザイン。ロング丈のワンピースに様々な形の鍵を縫い付けました。衣装の中にも、鍵や仕事道具などを隠し持っています。そのため、大きめでゆったりとした、クイネクのシルエットを活かしています。頭にターバンを巻き、首にスヌードを着けて、顔を隠しています。

クイネク ▶ P.32



秘密の多い設定
だから肌をあまり
見せないデザインに
したんだよ！

ラフ



鍵屋
×
クイネク

落ち着きを出したかった
ので、赤・茶色・ベージュ
でまとめました

衣装にデザイン性を持たせるため、裾にタッセルを加えました

デザイン意図

どんな鍵でも楽々開けてしまう、天才鍵屋の女の子をイメージ。ガガラの特徴である、ギャザーが多くふんわりとしたスカートと、カンジャリを参考にしたシャツを組み合わせてみました。ツインテールの髪型や、高いヒールのパンプスを履いて、女の子らしく仕上げています。ネックレスなどの装飾品は、鍵をモチーフに描きました。

ガガラ▶P.26



鍵屋
×
ガガラ

袖や裾の柄は鍵穴をイメージしてデザイン

ポーチやカバンの中には、鍵や仕事道具がたくさん入っているイメージ



白ベースの時は、
地色がある時よりも
柄を多めに入れて
あげると見栄えが
いいよ！

ネックレスのバリエーション

同じモチーフでも
デザインの幅は無限大！

モチーフからは様々なアクセサリが考えられます。鍵は印象的なモチーフですし、形や種類も豊富ですので、デザインに組み込みやすいですね。長さや飾り次第で全く異なったアクセサリにできますよ。



鍵とビーズの
ネックレス

南京錠の
ネックレス



鍵穴モチーフのチャーカー

空に浮かぶ星々に夢をはせる学者

天文学者

デザイン意図

宇宙が好きで、天体の勉強に夢中になっている女の子をイメージ。夜、パランジャを羽織って寝床から抜け出し、星空を観察しに行くという設定です。そのため、パランジャの中には、ワンピースのパジャマを着用。パランジャはデザインを星柄にし、天文学者らしい印象に。長い髪を三つ編みにし、さりげない星のヘアアクセサリーでかわいらしく。

パランジャ ▶ P.37

天文学者
×
パランジャ

宵闇を照らす星のランタンで設定とシーンを表現



ワンピースの裾にも星柄を加え、衣装に統一感を出しました

デザイン意図

真面目で優秀な、みんなに頼られる天文学者の女性をイメージ。アットウシによく見られるアイヌ文様をケープに加えました。ケープとは、袖がないアウターの一種で、背中・腕・胸をぐるりと垂らすように覆い、首元で固定して着用します。印象的なアイヌ文様は、水色と黄緑の配色にし、衣装全体を寒色でまとめました。

アットウシ▶P.16



大きな学者帽は、アイヌのバンダナと文様を組み合わせたデザインに

髪飾りと靴もアイヌのイメージからデザイン



ケープの中は、シャツとロング丈のベストでスッキリとした印象に

学者帽のバリエーション

印象的な帽子にするため
刺繍やチャームでアレンジ

帽子はアレンジのしやすいパーツです。アカデミックなイメージの正方形の帽子はモルタルボードといって、柄を取り入れたり扉に小物を吊るしたり色々なアレンジができますし、丸い帽子もデザインが見えやすいです。



アイヌ文様と星の
組み合わせ

星のスノードームを扉に



星座柄を入れた
丸い帽子



キャラクターの設定や物語を考える

生き生きとしたキャラクターを描くためには、あらかじめ設定や物語を考えることが重要です。実際に考えた、2体のファンタジーキャラクターの1シーンを紹介していきます。

ファンタジーキャラクターの生活



魔女 (P.74)

魔法学校の授業中で、見習い魔女に薬の調合を教えている場面。優しく丁寧に教えてくれる先生なので、生徒から信頼が厚いです。本書でも登場している相棒の黒猫は、いつも先生の近くにいます。



メイド (P.86)

喫茶店の店内でよくつまづいたり、カップを割ったり、そそっかしく失敗ばかりしているメイド。それでも、明るく笑顔で仕事に一生懸命なので、喫茶店の看板娘としてお客様に愛されています。

4章

モチーフ
民族衣装



4章

モチーフ

×
民族衣装

モチーフと民族衣装を 組み合わせる

ファンタジーのようにキャラクターをイメージしやすいわけではないので、
難度は少し高め。とはいえ、基本的な考え方は今までと変わりません。

モチーフを組み合わせる場合の手順

モチーフをデザインに落とし込む場合は、連想ゲームのように考えましょう。
思いつくままに要素を描き出してから、デザイン化していきましょう。

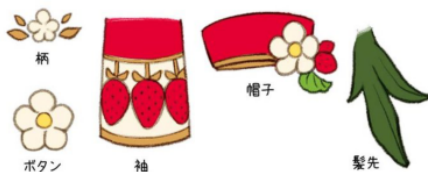
① モチーフを要素に分ける

モチーフを決めた後最初に行うのは、要素の分解作業です。これはファンタジーの時にも行なった作業と同じで、モチーフの特徴を描き出していきます。この時の発想がデザインの元になります。モチーフでは、特に配色が重要です。



② 要素を取り入れる パーツを決める

モチーフをいきなり組み合わせるのは難しいので、実際にどのようなデザインにするのか、パーツごとに考えてみましょう。この工程は慣れれば飛ばすことができますが、しっかり行なうことで特徴を明確にとらえたデザインにすることができます。



③ 民族衣装と組み合わせる

キャラクターデザインをしています。先にパーツのデザインを決めているので、それに合ったキャラクターにすると考えやすいでしょう。キャラクターに着せ替えるようなつもりで描くと、整ったデザインになります。



他のモチーフの例

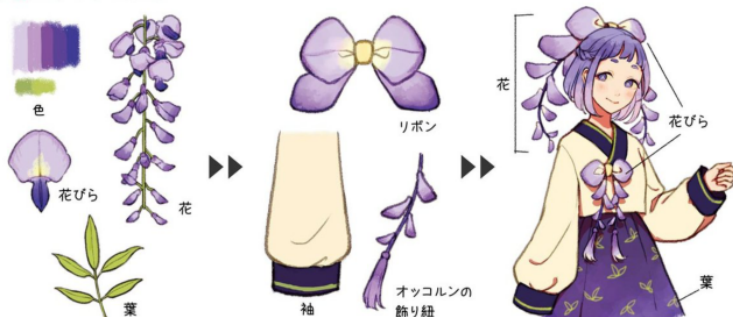
民族衣装とキャラクターは変えずに、モチーフを変えた組み合わせ例を紹介します。モチーフを変えると、デザインの印象を大きく変えることができます。

◆ 桜×チマチョゴリ



- 1 桜は多くの人が共通のイメージを持っているので、とても使いやすいモチーフです。花びらはもちろん、枝や蕾といった要素も考えましょう。
- 2 袖は桜の花びらの形から連想したデザインに。小さな桜の花をイメージしたヘッドドレスには、蕾をアレンジしたリボンを加えました。
- 3 桜の花の桃色と葉の黄緑をベースに配色した、春らしい雰囲気の子の女の子になりました。大きく形を変えたスリーブのシルエットが印象的です。

◆ 藤×チマチョゴリ



- 1 藤は垂れ下がった蔓にたくさんの花が咲く独特な形のモチーフです。その独特さこそ特徴ですので、一つひとつ要素に分解して、形を把握しましょう。
- 2 丸みを帯びた花びらのイメージから、袖の先を膨らませた形に。髪飾りとオックコルンは、リボンの羽根部分を花弁のイメージにし、垂れ部分を藤の枝と花で表現。
- 3 シルエットは桜よりも藤のキャラクターデザインのほうが広がりもあって派手ですが、配色によって全体がとても落ち着いた印象になりました。

早春の時期に甘い香りと共に咲く、古来より愛された花

梅

デザイン意図

梅の花言葉である「高潔」「気品」を参考に全体をデザインしました。色は白、赤、焦げ茶色の3色でまとめています。表情は、やや人見知りの印象にしつつ、どこか賢そうな子をイメージしています。足を組んで座る構図に対して、バランジャをマントのように伸ばすことで、より神秘的なキャラクターに見せています。

バランジャ ▶ P.37

髪を徐々に梅の枝へと変化させ、キャラクターの特徴的なパーツに

梅
×
バランジャ

梅の装飾やバランジャのマントがメインなので、中の衣装はシンプルに



ラフ

モチーフをそのまま取り入れるのも一つの手段だよ！

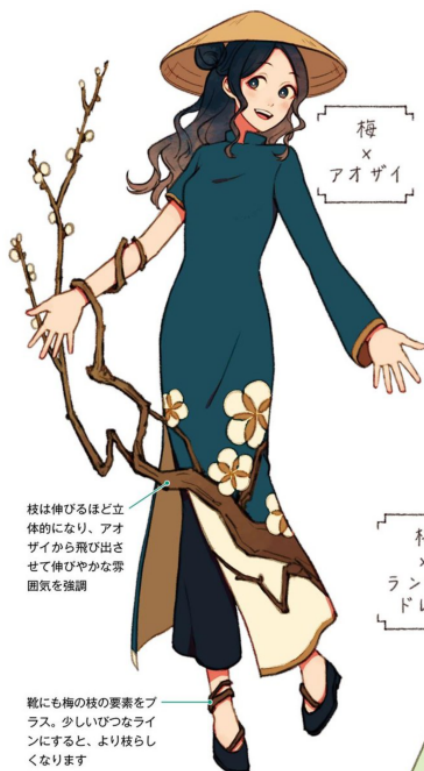


梅の花が舞い落ちる様子で、静かな中に動きをつけています

デザイン意図

ポジティブでおおらかな性格をイメージして表情は明るく、梅の枝で伸びやかなたずまいを表現。すらっとしたアオザイは元の形がシンプルなので、左腕のみ長袖、スリットは片側のみ、といったようにアシンメトリーのデザインにすることで単調なデザインにならないように気を付けました。髪型も片方だけおだんごにしています。

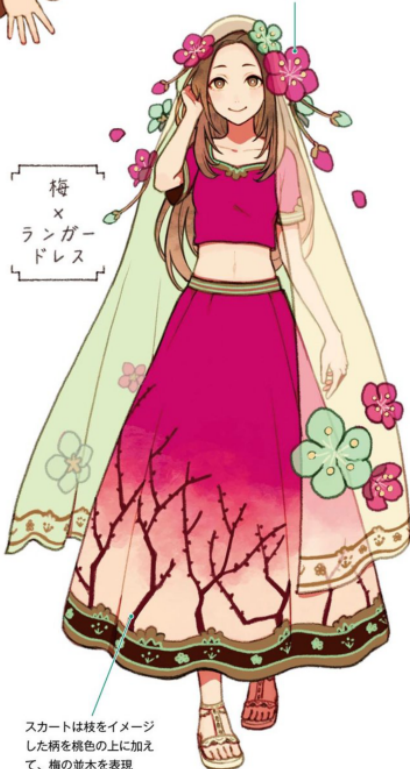
アオザイ▶P.24

梅
×
アオザイ

枝は伸びるほど立体的になり、アオザイから飛び出させて伸びやかな雰囲気を強調

靴にも梅の枝の要素をプラス。少しいびつなラインにすると、より枝らしくなります

梅の果汁をイメージした半透明のベールに、舞い散るような梅の花の装飾を加えました

梅
×
ランガードレス

スカートは枝をイメージした柄を桃色の上に加え、梅の並木を表現

デザイン意図

おっとりとした、優しい雰囲気のキャラクターにしたかったので、やわらかくふんわりとしたシルエットでまとめてみました。濃いピンクをベースにして、かわいくなりすぎないように明るい水色や焦げ茶色を差し色として使いました。デザインのあしらいに梅の花の蕾も混ぜることで、形や動きに変化を持たせています。

ランガードレス▶P.27

植物の魅力を小さな鉢の中にぎゅっと詰め込んだ小さな世界

盆栽

デザイン意図

静かで落ち着いた安定感のあるキャラクターデザインを目指しました。布面積が広いカラカ全体を使って、盆栽を表現しました。袖や足元は石や土、ひざ周りには幹を大胆に描き、腰から上にいくほど葉を多くしています。布の平面的なところは染色で、布から飛び出している枝や葉は、別素材の生地によって仕立てられたイメージです。

カラカ ▶ P.35

盆栽
×
カラカ

髪型は松の葉の束感を意識して、段々に切り揃えています

盆栽をイメージした髪飾りを付けて、頭の先までモチーフを表現

ラフ

濃い緑や茶系の色が多いので、所々に赤系の色を使い、地味になりにすぎないように

デザイン意図

植物の生き物らしさ、水々しさを表現するため、緑のグラデーションをベースにまとめています。特徴的なポーズは盆栽のシルエットから発想を得て、生き物らしさを表現しながらも、どこか静物的でもあるという二つの要素をミックス。小鳥とそれを見つめるキャラクターの表情が、より神秘的な印象を強めています。

タイドレス ▶ P.30



盆栽
×
タイドレス

お団子状にまとめた髪には、松の葉をイメージした髪飾りでアクセントをプラス

枝はプレスレットのようなアクセサリをベースにしつつ、大胆に広げています

盆栽の枝は自由に形を変えることができます。季節感を出すために、葉の色を変えたり、花を加えてもよいでしょう



イヤリングのアレンジ

盆栽の枝や葉だけでなく
苔や実もモチーフ要素に

盆栽をテーマにしたアクセサリは、単純に葉の形や種類の違いでデザインするのもよいですが、苔玉や松ぼっくり、花の形状からヒントを得るとアイデアが広がります。盆栽特有のシルエットの違いでデザインするのもよいでしょう



日本の夏の風物詩。厄除け、縁起物としても

鬼灯

デザイン意図

鬼灯の大きな実を携える、努力家で頼りになるキャラクターをイメージ。バジューロンがシンプルなシルエットなので、スカートのアレンジで動きを出してみました。スカートから鬼灯の実や葉を生やしていますが、絵の構図やバランスに合わせて数や大きさを変わるとよいでしょう。服の柄も鬼灯にして、かわいらしさを加えています。

バジューロン ▶ P.40

向かって右側のスカートを鬼灯と合わせて大きく見せているので、対比するよう軽く左に流しています

鬼灯
×
バジューロン

服は鬼灯やスカートの色が際立つよう、濃い藍色にしています



茶色の靴は、鬼灯のオレンジ色を入れることで軽めの印象に

デザイン意図

一人旅をしている設定で、日や雨よけのための大きな笠をかぶっています。襟周りや裾にチュバのデザインを残しつつ、配色やアイテムでモチーフの要素を加えていきました。手には鬼灯の独特な形を取り入れた、夜道を歩くための提灯を持たせています。スカートは鬼灯の葉を重ねたような質感で表現しました。

チュバ▶ P.22



鬼灯
×
チュバ

スカートの広がりに合わせて、笠を大きくすると全体のバランスがよくなります。笠を外した姿はこんな感じ



ネックレスのアレンジ

アクセサリの素材を変えてモチーフの質感に変化をつける

同じ鬼灯のモチーフでも、ネックレスそのものの質感を変えることで、キャラクターの印象も大きく変わってきます。左から順に、実物の透かし鬼灯、金属、天然石の勾玉、木製のビーズ、の素材で作られたネックレスをイメージしています。植物や木のアクセサリはやわらかくあたたかい印象が強く、石や金属製のアクセサリは重厚感や高級感が増します。



小さな花が集まって、手鞠のように咲く梅雨の代名詞

紫陽花

デザイン意図

梅雨の時期をイメージして、傘を持つキャラクターに。色は紫の他、青や水色といった同系色でまとめています。漢服をベースにしつつ、レインウェアのようにアレンジし、フードを付けたり、裾に広がりを与えたりしています。傘や髪飾り、服には紫陽花の装飾をあしらひ、統一感を出しました。

漢服 ▶ P.20

和傘のように親骨（傘の中心から伸びる骨組み）の多いデザインで漢服に合わせています

紫陽花
×
漢服

ラフ



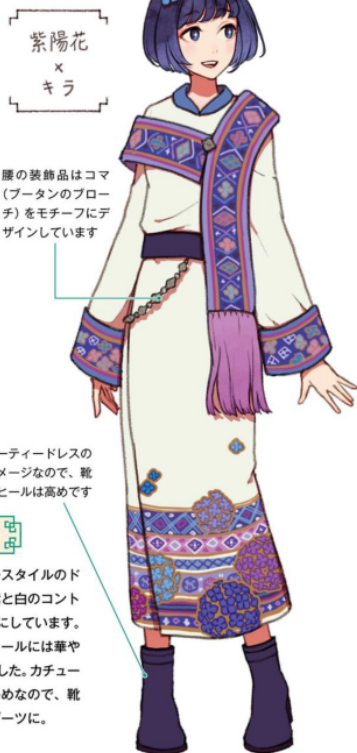
紫陽花の飾りが付いたサンダルは、雨の日でも濡れないよう厚底に



デザイン意図

モンゴルの馬頭琴奏者という設定で、穏やかな性格の子をイメージしています。衣装はデールの形を参考にしつつ、丈を短くし、腰に大きなリボンを追加してかわいらしく。さらにスカートの裾には紫陽花の柄を取り入れ、より女性らしい印象にしました。全体は深い紺色で統一し、落ち着いた印象を加えています。

デール ▶ P.29



デザイン意図

キラをベースに、パーティースタイルのドレスをイメージ。全体的に紫と白のコントラストで、柄が引き立つようにしています。袖やスカートの裾、肩のストールには華やかな紫陽花の柄を描き加えました。カチューシャは、紫陽花の花。柄が多めなので、靴は無地でシンプルなレインブーツに。

キラ ▶ P.38

座禅姿の朱色僧侶。形だけでなく目、髭もアレンジ

達磨

デザイン意図

お祭りが大好きで活発な、幼い女の子という設定で描きました。色は赤を中心に、差し色は反対色である水色を使って配色しています。羽織の中央には福の文字、袖にはライン状の模様を描き加えました。達磨はころころと転がり、安定感がないイメージだったので、足元は天狗下駄を参考に不安定なデザインにしました。

着物 ▶ P.14

達磨のお面で、お祭りの雰囲気とかわいらしさをアップ。長い紐で動きをつけています

達磨
×
着物

中央の福の文字は、「へん」と「つくり」できれいに分かれるデザインに

ラフ

下駄の鼻緒は左右で色を変えて、アンバランスな印象を強めています



達磨
×
クルテ

デザイン意図

イタズラ好きの幼い女の子をイメージしました。ポーズは達磨の表情を作っている様子です。全体は達磨のように膨らみのあるシルエットを基調に、クルテと同じように、襟や袖、裾に刺繍を入れています。帽子と服には達磨の顔をモチーフにした刺繍のデザインを入れ、服の左右には大きなポケットが付いています。

クルテ ▶ P.33

帽子や服の顔、柄が引き立つよう、服の地は青系の色にしています

アオザイの色は白に統一し、赤い達磨のオブジェと引き立たせ合うようにしています

靴は全体のシルエットに合わせて、丸みのあるデザインにしました

達磨
×
アオザイ



アオザイの下は動きやすそうなスバツにしています

デザイン意図

つかみどころのないミステリアスな雰囲気を醸し出すお姉さんのキャラクターをイメージ。達磨はキャラクターが座っているオブジェとして演出しています。笠と服の裾にも達磨をイメージした柄を取り入れています。全体にボリュームを持たせるため、髪型はゆったりとしたロングにして、なびかせることで動きを出しました。

アオザイ ▶ P.24

祭囃子に合わせて獅子が舞い踊る、日本の伝統芸能

獅子舞

デザイン意図

獅子のように力強く芯のある性格をイメージ。頭に大きな獅子舞の兜をかぶせ、モチーフを大きく見せています。服は獅子舞の布をもとに、大原女の襟元や前掛けの形を組み合わせてデザイン。ゆったりとしたズボンを履かせ、兜のボリュームに負けないよう、全体のバランスを整えています。足元も大原女のデザインを参考にしています。

大原女 ▶ P.18

獅子舞
×
大原女

顔の眉毛や目の下のメイク、八重歯も獅子舞を意識しています

兜から伸びる帯はカラフルにして、お祭りの雰囲気アップ

ラフ

内側の着物は兜の色と合わせ、兜とキャラクターの統一感を出しています



デザイン意図

獅子舞のパペットを持った、好奇心旺盛で遊びが大好きな性格の子をデザイン。人形遊びから、表情は少し幼く描いています。キラをベースに、裾元から獅子舞をイメージしたマントを付け加えました。また、ラチュ（フータンのスカーフ）をイメージしたマフラーも肩に掛けています。スカートは短くして、横縞の模様を描きました。

キラ ▶ P.38



柄のデザインパターン

種類豊富な伝統柄からイメージに合うものを選択

和風なキャラクターをデザインする時、重要になってくるのが衣装に描く柄のデザインです。いわゆる和柄と呼ばれる模様を重宝しますが、この和柄にはそれぞれ意味があるため、キャラクターに合わせて選びましょう。例えば、麻の葉模様には「成長」や「魔除け」、唐草模様には「生命力」や「長寿」、青海波模様には「永遠」や「平穏」といった意味があるといわれています。



淡く優しいコントラストで、見る人を離さない光

ぼんぼり

デザイン意図

不思議なぼんぼりをお姉さんという設定。衣装はチマチョゴリの形をほぼそのまま描き、細かなところに演出を加えています。スカート全体は火袋、青の縦ラインはぼんぼりの骨組みをそれぞれイメージしたデザインです。黒に近い焦げ茶色の部分は、漆塗りされた骨組みを参考にしました。

チマチョゴリ ▶ P.23

ぼんぼりの脚と紐をイメージした髪飾りを付けています

ぼんぼり
×
チマチョゴリ

腰から下げた装飾にも、ぼんぼりの形を取り入れてワンポイントに



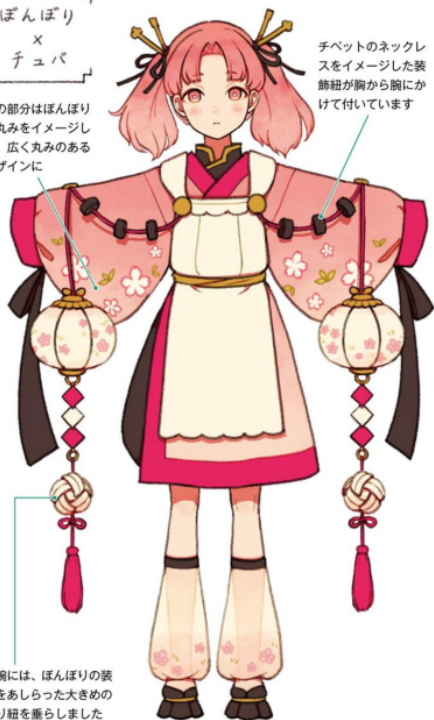
暖色系の色が多くなるので、メリハリをつけるため、ラインや裏地は寒色系の色に

ぼんぼり
×
チュバ

袖の部分はぼんぼりの丸みをイメージして、広く丸みのあるデザインに

チベットのネックレスをイメージした装飾紐が胸から胸にかけて付いています

両脇には、ぼんぼりの装飾をあしらった大きめの飾り紐を垂らしました



デザイン意図

ひな祭りのイメージで全体をデザイン。お菓子大好きな、小さな女の子という設定にしました。かわいらしいイメージなので、ピンクや白を基本にした配色で、所々に暗い色を使ってアクセントに。足元は火袋をイメージした透け感のあるバルーン状のレッグウォーマーと、ぼんぼりの脚をイメージした靴でかわいらしくまとめました。

チュバ ▶ P.22



嬉しいことがあると、髪や飾りがびよこびよこ動きまわります

靴のアレンジ

足元は地位や職業を表す大事なポイント

衣装によっては隠れてしまうなど、シンプルになりがちな足元や靴のデザインですが、キャラクターの設定を表す大事な要素です。貴族や位の高い人物は、歩いて行動する範囲がせまいため、実用性よりもデザイン性を重視。従者や戦いに赴く者は、丈夫で面積の広いもの。町人や旅人は、軽そうで足にしっかりとフィットしているものといったように描き分けることで、キャラクターがよりリアルになります。



貴族の靴

従者や戦士の靴

町人や旅人の靴

四季折々の風景を込めた、色鮮やかな花かるた

花札

デザイン意図

自在に花札を操ることができる、不思議な力の持ち主という設定です。子どもたちの世話好きなお姉さんという一面も持っています。配色は赤、生成り色、深緑、黒の4色がベース。花札は四角い札の中に、生き生きとした曲線で描かれた草葉や生き物が印象的だったので、四角や直線を多用した服に、やわらかな曲線で柄を加えています。

アオザイ ▶ P.24



アオザイのスリットの数を増やし、動きをつけています

袖は花札のような四角く広い布のデザインにアレンジしました

服がボリュームのある広がった形なので、ズボンはスキニーのように細身のタイプに

花札
×
白無垢

デザイン意図

上品でゆったりとした大和撫子をイメージ。真っ白な衣装ではなく、華やかな柄が描かれている打掛を参考にしています。また、袖の部分は花札の重なりを参考に、形をアレンジ。髪型は角隠しを参考に、後ろは花札の形にしています。柄は赤や黄色といった暖色系を中心に、ベースとなる生地は反対色である水色にしました。

白無垢 ▶ P.17

内側の着物の帯でできる膨らみを描くと、よりリアルに

髪飾りは花札で印象的な牡丹をモチーフに

幼い印象を出すため、手が見えないよう袖は少し大きめにしています

柄は部位で構成を分けるのではなく、一枚絵として考え描きます

花札
×
サロンケバヤ

デザイン意図

内気で大人しい女の子をイメージして、全体的にシンプルなデザインにしています。襟元や袖、スカートのラインはサロンケバヤのデザインを取り入れ、柄に代表的な花札の要素である猪鹿蝶を取り入れています。スカートは花札のデザインと合わせてラインを入れ、スリットで少し広がりを持たせました。

サロンケバヤ ▶ P.39

花札の役やルールを知っておくと、発想が湧きやすいよ



ふくよかな餅と、暖かく甘い馅のハーモニー

おしるこ

デザイン意図

お正月など特別な日に食べる、やや豪華で甘さが強いおしるこから全体をデザイン。お椀は椅子、お餅は座布団に見立てています。そこに座る女の子は、甘いものを食べないと不機嫌になる、そんな性格をイメージしました。着物は鮮やかな紫をベースにしたグラデーションに。柄は小豆の粒をモチーフにしています。

着物 ▶ P.14

背中に注連縄状の装飾を加え、元旦や縁日の雰囲気を出しました

ヘアバンドとピアスは
お餅、かんざしはお箸
をイメージしています

おしるこ
×
着物

足元は底の厚い下駄にして、
少しませたような印象に

小柄なキャラクターなので、帯を大きく垂らしたりお椀を大きく描いたりしてボリュームを出しています

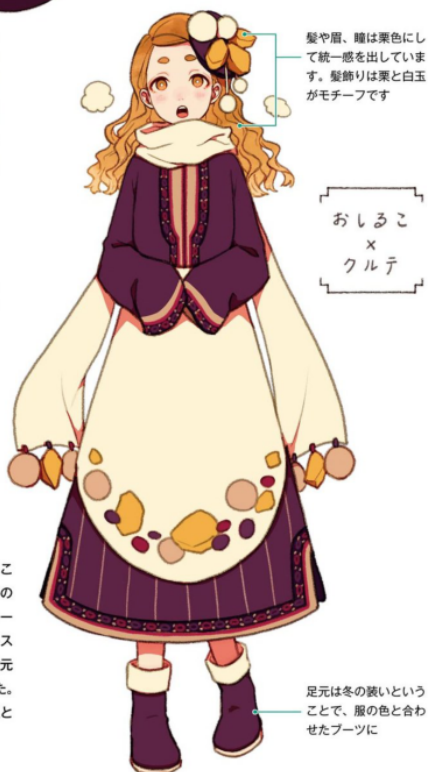




デザイン意図

甘味処の看板娘で、働き者の女の子という設定。シンプルで素朴な、甘さ控えめのおしるこのイメージです。手にはお盆、腰には四角い切り餅をモチーフにした前掛けを付け、お店で働く雰囲気を出しました。スカートの小豆柄や、靴にあしらった白玉の装飾など、それとなくモチーフの要素を取り入れています。

ロンジー ▶ P.34



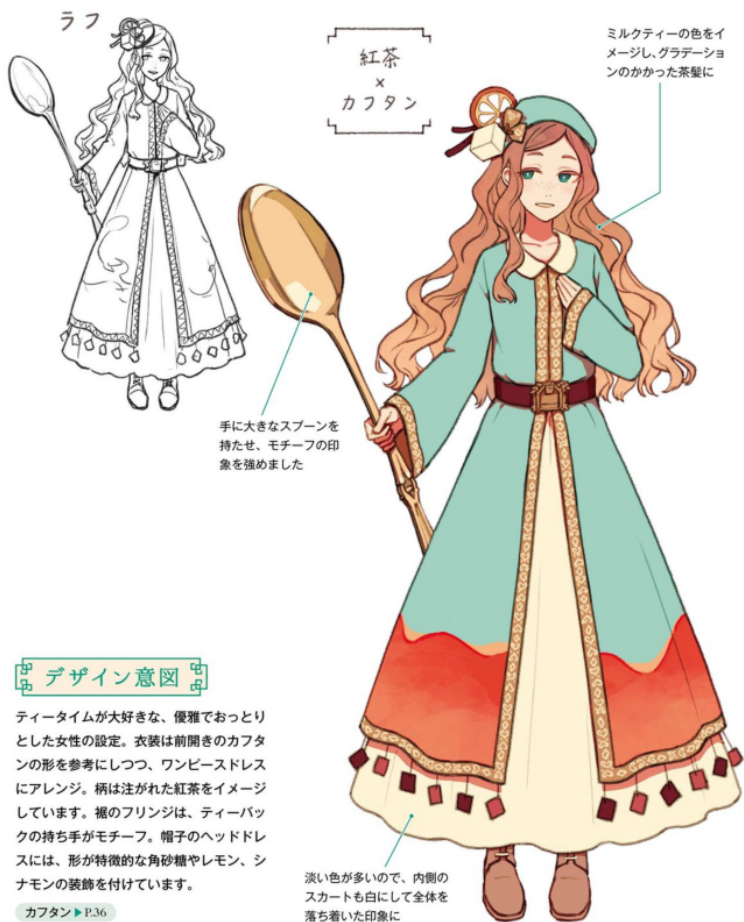
デザイン意図

白玉や栗が入った、ややモダンなおしるこのイメージです。おしるこの美味しい冬の装いでまとめています。もともとアウターであるクルテを、生地が分厚いワンピースにアレンジ。裾のスリットや、襟から胸元にかけての形はクルテの要素を残しました。マフラーと髪飾り、そして服の柄は白玉と栗をイメージしています。

クルテ ▶ P.33

心安らぐひとときを作り出す、世界で一番愛されたお茶

紅茶



紅茶
×
チマチョゴリ

イヤリングはドライフルーツのオレンジをモチーフにしています



デザイン意図

ファッション好きなお姉さんをイメージ。明るい茶系の色使いで統一しつつも、カラフルな印象を目指しました。衣装のベースはチマチョゴリですが、スカートの丈を短くしつつ広がりを持たせています。柄はフレーバーティーの茶葉や花びら、それとフルーツティーから連想したドライフルーツのイメージにして華やかに。

チマチョゴリ ▶ P.23

ノリゲを参考にした腰の飾りは、紅茶の袋やティーパック型のデザインです

頭の帽子には茶葉とティーバックをイメージした飾りが付いています



肩に掛けるサバイは紅茶のイメージから、先を液状化

デザイン意図

飾りっ気のないストレートティーからイメージした、ややボーイッシュな女の子です。蒸らす時間を計るように、手には砂時計を持たせました。タイドレスの特徴をそのまま落としこみつつ、巻きスカートはティーカップを逆さまにしたようなデザインにしてみました。足元はシンプルでアクティブな印象のサンダルに。

タイドレス ▶ P.30

紅茶
×
タイドレス

黒い翼に街を映して飛ぶ、空のインテリジェンス

カラス

デザイン意図

少し気難しい女王様をイメージ。民族衣装のカフタンはトップスと分かれているタイプを参考にデザイン。強さや気高さを表現するために、スカートの裾や髪に羽のデザインを取り入れ、全体をやや荒々しいシルエットにしました。カラスなので配色は黒系で統一し、その分独特な服の形や生地質感で魅せるデザインを目指しました。

カフタン ▶ P.36

服の刺繍も、帽子と同様にカラスの足跡のイメージです

帽子にはカラスの足跡をイメージした刺繍が入っています

カラス
×
カフタン



ラフ



暗い色の面積が多いので、露出を増やして重くなりすぎないようにしています

暗い色が多いので、
装飾品はカラフルに
しました

カラス
×
サルワール
カミーズ



腰巻は長めのデザイン
にして、カラスの
尾をイメージしつつ
動きをつけています

デザイン意図

宝石や光るものが大好きな盗賊という設定。服装は全体的に身軽で動きやすいようにしました。特徴的な袖は翼のシルエットからヒントを得ました。後ろにまとめた髪は、徐々にカラスの羽になっていくデザインです。靴にはカラスの足の形を参考にしたラインを入れています。表情は知的さを感じさせる余裕のある微笑み。

サルワールカミーズ ▶ P.28



キャスケットや腰、首には宝石やコインをモチーフにした装飾をプラス。盗んだ物を身に付けているという設定です

羽の髪飾りのアレンジ

鳥の羽は様々な小物デザインを作りやすいモチーフ

今回は服や髪デザインの中心に、カラスの羽のイメージを組み合わせましたが、装飾品も同じようにアレンジすることができます。真ん中に大きな宝石を付けたリボンの紐を羽としてデザインしたり、金属製のバレッタにしてもよいでしょう。和服のキャラクターの場合はかんざしにして、宝石を加えたり、足の形のかんざしにしてもよいでしょう。



涼しげな装いに毒を隠して、海をたゆたう放浪者

クラゲ

デザイン意図

クラゲの淡い水色や藤色といった寒色系の色使いを意識しました。クラゲの傘を壺装束の笠で表現し、垂れ下がる布でクラゲの触手を表現しています。髪型もクラゲを意識したマッシュポブに。頭の大きな笠に対して、下はすっきりとしたボリュームにしたかったので、丈の短いバレーンのズボンに、ニーハイソックスを合わせています。

壺装束 ▶ P.19

袖は丸みのある形にアレンジして、クラゲをイメージした模様を描きました

ラフ

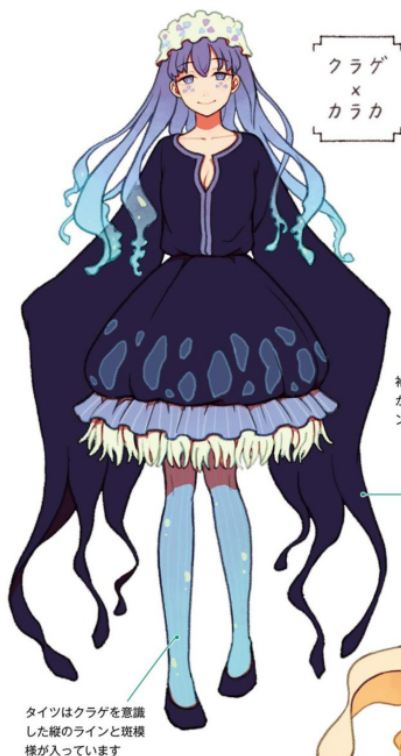


前垂れは濃い色使いにして、クラゲの毒を表現しました

クラゲ
×
壺装束

笠から垂れた布や足元の布は透け感を出してモチーフの印象を強めています





デザイン意図

おおらかで優しいお姉さんをイメージして、全体的にゆらゆらとした印象になるデザインを目指しました。服の形はカラカをベースに、スカートの丈を短くしてクラゲのような形にアレンジしました。髪型はロングで、毛先にいくにつれてクラゲのような質感にしています。袖の形や配色に対し、やわらかな表情でギャップを演出しています。

カラカ ▶ P.35



デザイン意図

控えめで恥ずかしがり屋な性格の子をイメージしました。他と違って幼くかわいらしい印象にしたかったので、フリルを多めに付け、あえて黄色にしてみました。パールや服に散らした十字のお花のようなマークは、クラゲの特徴的な胃の形から発想を得てデザイン。パールの形はクラゲの触手をイメージしています。

ケミス ▶ P.31

色とりどりのドレスをまとい、水の中の舞い泳ぐ

金魚

デザイン意図

明るく前向きで、頑張り屋さんなアイドルのイメージ。金魚のトサキンやリュウキンを参考に、チーパオをライブ衣装のようなフリルの多いデザインにアレンジしました。袖やスカート、後ろの大きなリボンは透け感のある生地に、金魚の胸びれや尾の質感を表現。アイドルらしさを出すため、動きをつけたポーズにしています。

チーパオ ▶ P.21

金魚
×
チーパオ

ラフ



配色は金魚らしい赤と、
黄緑がかった白をベ-
ースにしています

ニーハイソックスの
レースは金魚の鱗をイ
メージしています

足元はシンプルに。装飾
として数珠をイメージし
たデザインを加えました

ストールやリボンに
透け感を出して、よ
り金魚の尾ヒレらし
くしました



金魚
×
ガガラ

表地を黒、裏地を金で統一し
てメリハリをつけています

透け感のあるスカ
ートは2層にすることで
動きが表現しやすい
デザインに

同じ金魚でも
違う種類から発想
することで様々な
デザインができるよ!



デザイン意図

内気で照れ屋さん、インドアな女の子の設定です。モチーフはらんちゅうを参考にしました。スカートは透け感のある生地で、ボリュームを出すため2層構造にしています。また、金魚の模様をイメージした染め模様が入っています。ひじの部分の形はヒレをモチーフに。装飾はアンクレットだけにとどめ、全体的にシンプルな装いにしています。

サリー ▶ P.25

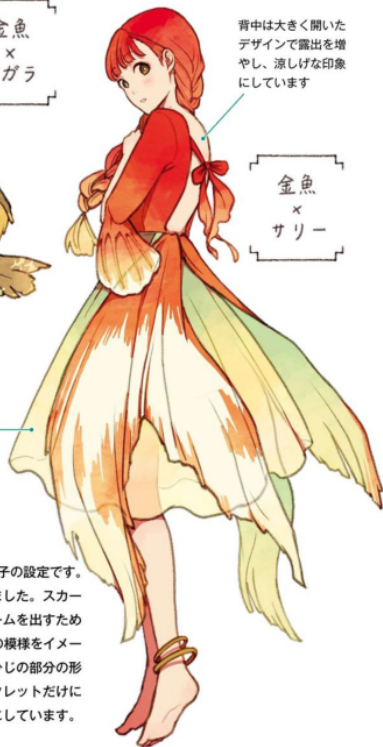
デザイン意図

青文魚や黒オランダを参考に、元気でやや勝気な踊り子をイメージしました。配色は黒と金でまとめ、踊り子なのでチョーカーやアンクレットなどの装飾を付けています。耳のピアスは金魚の鱗をモチーフにしたもの。ストールの先やスカート裾は尾ヒレを参考にデザインしました。また、服と同じ素材の大きなリボンも加えています。

ガガラ ▶ P.26

背中は大きく開いた
デザインで露出を増
やし、涼しげな印象
にしています

金魚
×
サリー



海底を美しく彩る、多種多様な海の宝石たち

珊瑚



サルワールカミーズ ▶ P.28



珊瑚
×
漢服

ウェーブのかかった髪はグラデーションにして、海底の珊瑚を表現

青系の面積が大きいのので、柄として小魚のシルエットを加えています

デザイン意図

優雅で美しいお姉さんをイメージして、漢服の形をボリュームのあるドレスにアレンジしました。全体は海の水色、青、珊瑚の淡いピンクをベースに配色。何層にも重なっているスカートは、様々な珊瑚の形を参考にデザインしました。髪の毛先や髪飾り、靴も珊瑚の形をモチーフにデザイン。腰の飾りはフジツボを参考にしています。

漢服 ▶ P.20

袖に付けた大きなフリルも珊瑚のイメージから

全体にひらひらさせたりふわっとさせたりすると、水中のイメージを表現できるよ



海をイメージした装飾のアレンジ

海の生き物を装飾品にデザイン キャラクターの世界観を演出

珊瑚の種類は多種多様で、それぞれ特徴のある形をしています。そのシルエットをそのまま活かし、装飾品としてデザインすると、海のキャラクター感を増すことができます。珊瑚だけでなく、種類の豊富な貝や、星型が特徴的なヒトデ、さらに真珠もデザインしやすいモチーフです。



帽子型ヘッドドレス



髪留め
ヘッドドレス



紐サンダル



ショートブーツ

ホラーにもコミカルにもできる、万能モチーフ

骨

デザイン意図

地獄からやってきた死神の使者という設定。表情が固いのは、ルールや規則に対して忠実に仕事をする性格だからです。頭にはドクロをイメージしたお面を付け、怖さよりもかわいらしさのほうに寄せています。背中の装飾は肩甲骨、背骨、肋骨をモチーフにデザイン。スカートはマーメイドドレスタイプのテルノを参考しました。

テルノ ▶ P.41



髪型もモチーフを
落とし込みやすい
パーツだよ！

ラフ



骨
×
ケミス

ベールにもスカートの模様と合わせて、背骨をモチーフにした柄が入っています

デザイン意図

お転婆で、やや意地悪な性格の子をイメージしています。ケミスのワンピースは形を大きくは変えず、骨から連想した装飾をプラスしました。手のミトンのような部分は骨盤の骨を参考にデザインしています。ドクロをイメージした帽子には、透け感のあるベールを足してミステリアスな雰囲気。スカートの模様は背骨がモチーフ。

ケミス ▶ P.31

独特な服の趣味を持っているという設定にしたかったので、骨の装飾に加え、背中には背骨をイメージした幅み上げのリボンが付いています

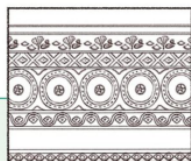
全体の色合いは濃い朱色にして落ち着いた雰囲気にしました



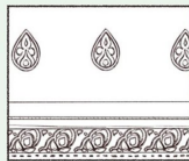
袖周りの柄のパターン

縞模様をうまく使って
民族的な雰囲気を演出

袖のデザインを考える時は、袖の向きに合わせて、横縞をイメージした模様にするとうまいです。民族衣装では縞模様が使われることが多いので、参考にするものさえ決めてしまえば案外難しくありません。

柄面積を広くした
パターン

柄をぎゅっとまとめたパターン



ポイントだけ離れたパターン



配色による印象の違いを知ろう

キャラクターデザインにおいて、配色は与える印象を大きく左右します。同じキャラクターの別配色を例に、印象の違いを見てみましょう。

彩度の高い配色と低い配色



珊瑚×サルワールカミーズの例 (P.126) です。Aは実際に本書でも採用した配色で、彩度の低い色で統一しています。この場合目を引く力は弱くなるものの、遠親したキャラクター性を表現することができます。反対にBのように彩度の高い色を使うと、目を引き、はつらつとした印象を与えることができます。一般的にはBのほうが採用されることは多いのですが、本書では様々な配色を入れたかったので、Aの配色を採用しています。

固有色メインの配色と差し色にした配色



梅×ランガードレス (P.101) の例です。Aのように梅というモチーフから連想されるピンクや赤をメインにする配色は、スタンダードで正統派な印象になります。反対に、Bのように白と黒をベースにしてモチーフの色を差し色として使う方法もあります。白と黒は少し特殊な色で、その他の色を引き立たせてくれる役割を持ちます。AとBでは印象が大きく異なるので、デザインに合わせて使い分けてみましょう。

5章

イラスト メイキング



表紙イラストメイキング

『CLIP STUDIO PAINT PRO』を使用した本書の表紙イラストの制作過程を解説します。本書のテーマから、ファッションデザイナーのイメージで描きました。



01 ラフを描く

最初にラフで構図を決めます。人物の大きさを先に決定し、それに合わせて背景の小物のサイズや位置を検討しました。

1 設定から構図を決める



設定をもとにラフを描き、全体の構図を決めます。靴のデザインをよく見せたかったので、座っているボーリングにしました。

2 ラフを消書きする



①で描いたラフをもとに消書きします。もう少しファンタジーの要素を入れたかったので、ここで椅子を達磨に変更しました。

02 ラフに着色する

線画に入る前にラフに着色します。全体の配色バランスをチェックしつつ、作品の完成イメージをつかみます。

1 下地を塗る



後から変更がしやすいように、人物と背景を別レイヤーで塗り分けます。

2 人物の着色



赤、青、黄色、焦げ茶色、生成り色の5色をベース色のメインとし、まずは人物の配色を決めます。

3 構図の修正



ここで、背景を修正。直線の垂れ幕から、動きをつけた垂れ飾りに変更しました。

4 背景の着色



修正した背景の垂れ飾りの配色を決め、民族衣装を参考にした柄を描き加えます。作業の途中、何度も全体のバランスをチェックし、少しずつ配色を整えていきます。

03 線画を描く

線画は、あとから人物だけを移動できるように、人物に隠れている背景も描きます。

① ラフの不透明度を下げる



ラフを描いたレイヤーの不透明度を下げ、新規レイヤーを作成し、線画を描いています。ラフで気になる箇所がある場合は、線画を描く前に新規レイヤーを作成して描き直し、同様に不透明度を下げます。

② 人物の顔を線画にする



まずは表情から線画にしていきます。ガサガサとした質感が好きなので、基本は粗めの[鉛筆]ブラシを使用しています。ただ、細い毛先などはもう少ししめやかな[鉛筆]ブラシにするなど、場所によって種類や大きさを変えます。

③ 服や背景を線画にする



パーツごとに拡大表示したり、左右反転したりしてバランスを確認しながら描き進めていきます。気になった部分は、[自由変形]や[移動]ツールで形や大きさ、位置を調整します。



必要ないと思った部分は省略したり、別のレイヤーを作成して新たな要素を描き加えたりすることもあります。一度描いただけの線画だとやや薄いのでレイヤーを複製し、重ねて濃くします。



線画完成です。この時人物に隠れている背景の線画もしっかり描き込んでおくことで、あとで位置調整がしやすくなります。

04 線画に配色する

線画が完成したら「自動選択」ツールで
着彩用のベースレイヤーを作成し、準備します。

5
章

イラストメイキング

1 下地となる色を置く



キャラ全体を白色で塗りつぶしたベースレイヤーの上に合成モード「通常」のレイヤーを作成し、「クリッピングマスク」にチェックを入れます。[丸ペン]と[バケツ]を使い、それぞれパーツごとに作ったレイヤーに下地となる色を置いていきます。

2 服や背景の柄を描く

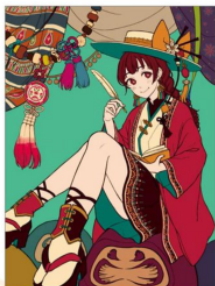


たくさんの色を使いすぎると全体がバラバラな印象になるから注意しよう！



ベースの配色が決まったら柄を描いていきます。その後、パーツごとに全体のバランスを見ながら「色相」、「彩度」、「明度」を調整します。柄や装飾が多いためどうしても色数が多くなりますが、キャラクターに使用するメインの色は5色に絞りました。

3 配色の検討



キャラクターの配色や背景色を検討します。青緑系の背景に決めた後、赤メインの配色と黄色メインの配色で悩みました。最終的に寒色である青緑系の背景に埋もれて見づらくならないよう、キャラクターを暖色である赤に決めました。

05 肌と目の着彩

ここからはパーツごとに着彩のプロセスを追っていきます。
まずは肌と目の着彩からです。

1 グラデーションをかける



肌のベースレイヤーの「透明ピクセルをロック」にチェックを入れ、ブラシでグラデーションを入れます。使用する色はスポイトで取ったベースの色を参考に、カラーサークルで色を変更して決定します。肌は自作した「水彩」ブラシをメインにしつつ、細かい部分は「リアル鉛筆」で描き起こしています。

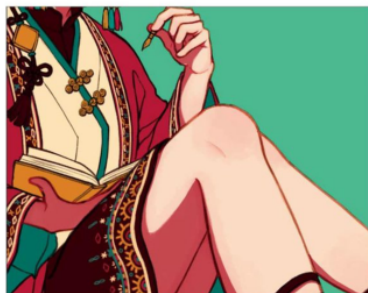
2 線画の色を変える



線画レイヤーの合成モードを、[通常] から [焼き込み (リニア)] に変えます。

線画レイヤーの上に合成モード [通常] のレイヤーを作成し、[クリッピングマスク] にチェックを入れます。このレイヤーに色を置くことで、線画の色が変わります。

3 肌に影を付ける



肌を塗ったレイヤーの上に影用の合成モード [乗算] のレイヤーを作成し、肌に影を付けていきます。境界線がシャープになる [ペン] と、ガサガサとした境界線になる [リアル鉛筆] を使用して影を描きます。その後、肌の影レイヤーの「透明ピクセルをロック」にチェックを入れ、[濃い滲み] ブラシや自作の「水彩」ブラシで影色に変化を付けていきます。

わざとフチが濃くなるようにテクスチャを付けることで、アナログの水彩っぽい塗りになります。また、影の境界線をぼかしたい部分は「透明ピクセルをロック」のチェックを外した後、[繊維にじみ] でぼかします。目も同じ工程で塗っていきます。

06 髪の色を着色

次に髪の色を着色に入ります。着色しやすいよう、回転させたり拡大させたりしながら作業します。

1 グラデーションをかける



髪の色を赤茶色から濃い赤紫に変更。レイヤー、使う色については05-④と同様にしてグラデーションをかけます。



髪は自作の【水彩】ブラシを複数使い分け、質感やタッチといったテクスチャを表現しながら、色の変化やムラでグラデーションもかけていきます。大胆にテクスチャを表現するため、ベースレイヤーの上に、合成モード【焼き込みカラー】、【オーバーレイ】などのレイヤーを複数使用し、作業します。



髪以外の部分にも色がはみ出ているので、【自動選択】ツールを利用して髪以外の部分は消します。この時、はみ出していない髪のベースレイヤーがあると便利です。

2 影を付ける



髪のベースレイヤーの上に合成モード【焼き込みみニア】の新規レイヤーを作り、肌と同じくはっきりとした影を付けます。

3 もう一度グラデーションをかける



物足りないと感じたら、06-①と同様の工程を繰り返します。【ハードライト】や【オーバーレイ】など、重ねるレイヤーの合成モードによってちがう質感が生まれるので、その都度色々試していきます。

4 質感の描き込み

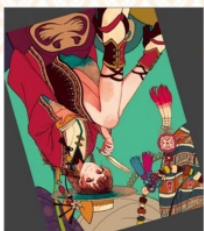


ガサガサとした【リアル鉛筆】のタッチを生かし、厚塗りの要領で描くことで水彩絵の具の塗りムラを表現していきます。最後に肌と同じように線画の色を変更（ここで目の色をやや明るい色に修正）。

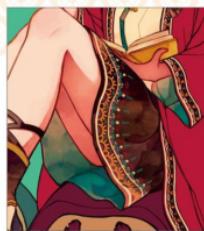
07 服・装飾品の着彩

体の着彩が終わったら、服や装飾品の着彩をして、キャラクターを完成に近づけます。

1 服の着彩

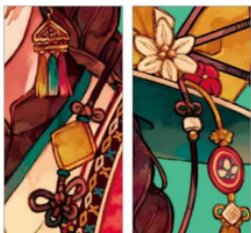


髪と同じく、自作の【水彩】ブラシでグラデーションをかけていきます。塗りやすいように回転させつつ作業。なめらかになりすぎた時は階調化の機能で調整することもあります。



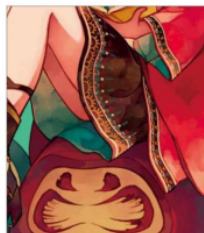
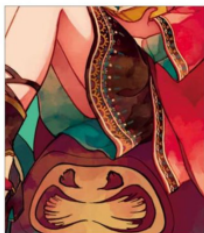
グラデーションをかけ終えたら、【リアル鉛筆】でアナログっぽい質感を目指して描き込んでいきます。

2 装飾品の着彩



【リアル鉛筆】と【丸ペン】を使用し、装飾品の金属の光沢を描き込んでいきます。

3 遠磨の着彩



自作の【水彩】ブラシでグラデーションをかけます。大きく色を変化させる時は、立体感を意識しつつ【油彩平筆】でざっくりと色を置くこともあります。

4 色味の再調整



不安な工程を進める時は、レイヤーを複製しておいて、すぐ前の工程に戻れるようにしておこう！



キャラクター周りの着彩が完成したところで、合成モード【乗算】のレイヤーを一番上に作成し、全体に明るいオレンジを重ねて色味を調整し逆光感が出るようにしました。

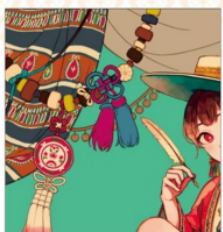
08 その他の着彩

最後にキャラクター以外の着彩を進めていきます。
基本的な手順はここまでと同様です。

5
巻

イラストメイキング

1 背景の着彩



グラデーションから、影付け、線画の色変えなどはキャラクターの肌や目と同じ要領です。背景もパーツで区切って描き進めていきましょう。

2 色味の再調整



一番上に合成モード【ハードライト】の新規レイヤーを作成し、自作の【水彩】ブラシで全体に色を置きます。同じ色を上から重ねることで、布全体の色味をなじませます。

3 背景をなじませる



背景色となじませるために奥の布をまとめたフォルダの不透明度を90%に。

主な着彩工程のまとめ

基本の4工程と編集ツールでここまでの手順をおさらい

パーツによって例外はありますが、着彩の流れはだいたい4工程になります。レイヤーの色全体を変更したい時は、色相、彩度、明度で変更します。グラデーションをはつきりとさせたい時は、レイヤーを上にも複製し、階調化させたものと重ねます。



塗りたいレイヤーの【透明ピクセルをロック】にチェックをし、自作の【水彩】ブラシで色を置く。



線画を描いたレイヤーの上に新規レイヤーを作成して【クリッピングマスク】をし、線画の色を変える。



合成モード【乗算】のレイヤーで、影を付ける。影自体にも自作の【水彩】ブラシでテクスチャを付ける。

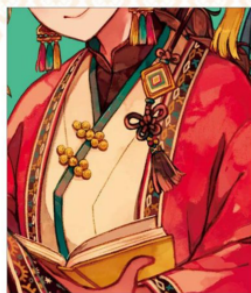


【リアル鉛筆】や【繊維にじみ】で、アナログのような質感になるように描き込む。

09 加筆・修正

全体の着彩まで完成したら、
気になる部分を加筆したり、修正したりします。

① キャラクターの加筆



合成モード「通常」のレイヤーを作成し、数種類の【鉛筆】ブラシを使用して厚塗りの要領で描き込んでいきます。髪の毛先や顔の表情は、どのイラストでも最後に加筆することが多いです。

服と服が重なる場所には明るめのハイライトを入れたり、塗りがはみ出ている部分は修正したりします。



厚塗りとは、上からどんどん
色を塗り重ねていく手法だよ！

② 背景の加筆



キャラクター、装飾（前）、
装飾（後）の順で加筆して
いきます。背景装飾は、
描き込みすぎてキャラク
ターより強くなりすぎな
いように気をつけます。今
回はピンクの差し色を入
れることで、布が背景に
同化しすぎないようにし
ました。

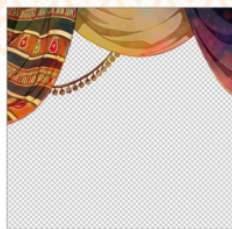
10 色調整・仕上げ

補正機能やフィルターを使い、全体を整えていきます。
この工程が終わったらイラストの完成です。

5
章

イラストメイキング

1 レイヤーを統合する



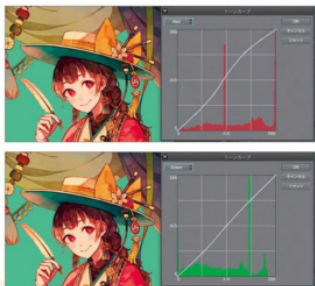
全体の加筆、修正が終わったら、パーツごとに統合をします。統合したいフォルダのみを表示させて「表示レイヤーのコピーを統合」を使用します。90%の不透明度だった後ろの布は、一旦100%に戻して統合した後、また90%に戻します。

2 レベル補正で明るさ調整



統合したキャラクターの描かれたレイヤーの上に「新規色調補正レイヤー」から「レベル補正」を作成して「クリッピングマスク」にチェックを入れる。その後「レベル補正」機能で明るさを調整。

3 トーンカーブで色味調整



前工程のレイヤーの上に、さらに「新規色調補正レイヤー」から「トーンカーブ」を作成し、「Red」や「Blue」、「Green」のグラフ数値を変更させて、色味を調整し、最後にそれぞれのレイヤーに「シャープ」フィルターをかけたら完成。

完成！





アジアンファンタジーな デザインバリエーション

複数の民族衣装を混ぜてみたり、民族衣装を決めずに描いてみたり、
実際にデザインする時は自由な発想で考えてみましょう。

春



夏



秋



冬



白鳥



お団子



花火



裁縫道具



風鈴



鞠



ドライフルーツ



妖精



道化師



香水



雪女





紅木 春 (あかぎ しゅん)

愛知県出身、東京都在住のフリーランスのイラストレーター。美大を卒業後、書籍の装画・ゲームイラスト・CDジャケット・MVイラストなど幅広く活動中。和レトロや民族衣装といった、異国感のあるファンタジーな世界観が好き。

- HP : <http://camellia34.wixsite.com/yumeniwa>
- pixiv : <https://pixiv.me/teatime0>
- twitter : @Camellia_0x0
- instagram : https://www.instagram.com/camellia_0x0/
- tumblr : <http://camellia0x0.tumblr.com/>

参考文献 (順不同)

『世界の服飾 (1) 民族衣装』(A. ラシネ 著/マル社)、『世界の服飾 (2) 民族衣装 続』(A. ラシネ 著/マル社)、『世界の民族衣装の事典』(丹野郁 監/東京堂出版)、『世界の愛らしい子ども民族衣装』(国際服飾学会 監/エクスナレッジ)、『カワイく着こなすアジアの民族衣装』(森明美 著/河出書房新社)、『世界の服飾・染織 西アジア・中央アジアの民族服飾・イスラームのヴェールのもとに』(文化学園服飾博物館 編/文化出版局)、『衣装の語る民族文化』(今木加代子 著/東京堂出版)、『世界の衣装をたずねて』(市田ひろみ 著/淡交社)、『アジアの民族造形-「衣」と「食の器」の美』(金子量重 著/毎日新聞出版)

アジアンファンタジーな女の子の キャラクターデザインブック

著者 紅木 春
編集 石井貴大 (スタジオダク)
梶原亜美 (スタジオダク)
デザイン 山岸 萌 (スタジオダク)
発行日 2019年5月1日 初版発行
発行人 北原 浩
編集人 勝山俊光
編集 平山勇介/岡嶋浩太
発行所 株式会社 玄光社
〒102-8716 東京都千代田区蔵田橋4-1-5
TEL:03-6826-8566 (編集部)
TEL:03-3263-3515 (営業部)
FAX:03-3263-3045
URL:<http://www.genkosha.co.jp/>

印刷・製本 株式会社 東京印書館

©2019 akagi shun
©2019 GENKOSHA Co., Ltd.
Printed in Japan

JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構 (JCOPY) の許諾を得てください。また本誌を代行業者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用であっても著作権法上認められておりません。

JCOPY (TEL:03-5244-5088 FAX:03-5244-5089 E-MAIL:info@jcopy.or.jp)





**メルヘンファンタジーな女の子の
キャラデザ&作画テクニック**

女の子キャラをもっとかわいく
するためのアイデア満載！

著者：佐倉おりこ
B5判・144ページ
定価：本体2,000円＋税
ISBN978-4-7683-0984-1



**ファンタジー衣装
デザイン図鑑**

世界観が広がる
コスチュームアイデア集

著者：もくり
B5判・144ページ
定価：本体2,000円＋税
ISBN978-4-7683-1106-6



**美しい幻想世界と
キャラクターを描く**

魅惑の“世界観”をつくり出す
テクニック

著者：藤ちょこ
B5判・144ページ
定価：本体2,000円＋税
ISBN978-4-7683-0966-7



ドレスの描き方

色・シワ・透け感・レース・
フリル・リボンなど
細かいディテールを徹底解説！

著者：kyachi
B5判・144ページ
定価：本体1,900円＋税
ISBN978-4-7683-0704-5



アジアン
ファントジーな
女の子の
キャラクターデザインブック

